

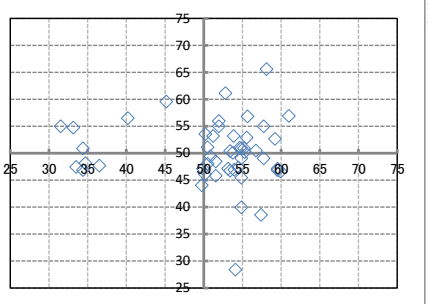
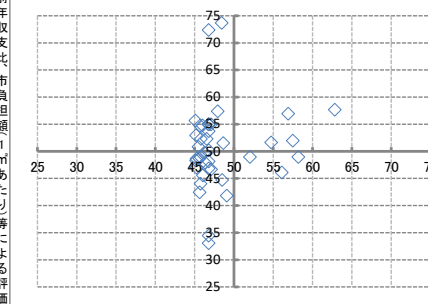
リストNo	04-001	施設コード	02380
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設		
施設名	浜松城公園天守閣		
所在(町名・番地)	中央区元城町		
利用者の圏域別分類等	広域	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	都市整備部公園管理事務所	課長名 高林 繁
	施設	都市整備部公園管理事務所	課長名 高林 繁
設置根拠(法)	都市公園法		
条例	浜松市都市公園条例		
設置目的	都市公園の健全な発達を図り、もって公共の福祉の増進に資すること(都市公園法第1条)		
主な利用者	一般等		
運営形態	指定管理者		
指定管理または包括管理委託等の期間	2020/04/01 ~		
管理者名	浜松城公園パークマネジメント共同事業体		
開館時間	8:30 ~ 16:30		
建物情報	総延床面積	311.27	土地情報
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	3	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	0.68	
	耐震工事(主要建物)	-	
	建築年月日(主要建物)	1958/4/26	
	経過年数(主要建物)	66	
用途地域	第二種住居地域	土地面積	0.00
	区分	建設事業費(千円)	うち所有面積 0.00
		土地取得事業費(千円)	うち借地面積 0.00
計	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
	一般財源	—	—
特記事項	・維持管理経費は、NO.17-27に一括計上。		



項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
	人件費	0	0	0
支出(千円)	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地利)	0	0	0
	支出計(B)	0	0	0
行政コスト(B-A)		0	0	0
収支前年比		—	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	418,104	218,743	133,036
	開館日数/年	362	362	362
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
	有形固定資産(千円)			
BS情報	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2022	外装改修工事	52,406			
近隣施設						
同分類	No	施設名		圏域種別	距離(km)	
	04-009	美術館		市域	0.1	
	04-015	茶室「松韻亭」		地域	0.4	
	04-014	浜松復興記念館		地域	0.6	
	04-033	旧浜松銀行協会		文化財	0.8	
	04-016	犀ヶ崖資料館		地域	1.0	
	04-002	アクトシティ浜松Dゾーン(楽器博物館・研修交流センター)		広域	1.4	
	04-013	賀茂真淵記念館		地域	1.5	
	04-008	浜松科学館		市域	1.6	
	その他の分類	01-001	本庁舎		市域	0.2
15-100		浜松中部学園(中部小学校・中学校)		生活	0.2	
06-001		中央図書館		市域	0.2	
07-073		中部学園放課後児童会		生活	0.3	
14-029		浜松第1分団		コミュニティ	0.4	
14-002		消防局・中消防署		市域	0.5	
01-002		元目分庁舎		市域	0.5	
07-006		広沢子育て支援ひろば		生活	0.6	
施設周辺地図情報						

基本情報	リストNo	04-001	施設コード	02380	所管課	本庁	都市整備部公園管理事務所
	施設名	浜松城公園天守閣			施設	都市整備部公園管理事務所	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	都市公園・緑地の整備					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		都市公園の健全な発達を図り、もつて公共の福祉の増進に資すること(都市公園法第1条)					
		主な業務内容	展示業務、自主事業				
		主な利用者	一般等				
		設置目的の継続性・妥当性					
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用があり、需要は確保されている。				
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	利用者の多くが一般利用者であり、ニーズに大きな変化はないと考える。				
	特記事項	—					
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況	
		事業①	—	2023	—	—	—
				2022	—	—	—
				2021	—	—	—
		事業②	—	2023	—	—	—
				2022	—	—	—
2021				—	—	—	
事業③		—	2023	—	—	—	
			2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
事業④		—	2023	—	—	—	
			2022	—	—	—	
	2021		—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	天守閣は、昭和33年に鉄筋コンクリート造で再建され57年が経過。平成19年度実施の耐震診断では、耐震改修促進法に基づく構造耐震指標であるIs値が0.68、静岡県内の判定基準では耐震性能がやや劣る建物で倒壊する危険性は低いかなりの被害を受けることも想定される建築物と判定。耐震補強基準を満たすための耐震補強等が必要となる。					
	対応策	浜松城天守閣は、市のシンボルであり、年間約20万人の方々にご来場いただいている。今後、天守閣としての魅力を損なわないよう、展示スペースの確保などの課題を見据え、耐震補強等の方向性を検討する。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
		統廃合	—	—	—	—	
	複合化	—	—	—	—		
	広域化	—	—	—	—		
民活導入	指定管理者制度導入施設であり、ニーズにあった自主事業の展開など、公園としての公用発揮、有効活用の推進に努める。						

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	0	0	0
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	0	0	0
	1日当たり利用者(人)	1,155	604	368	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
								
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	拠点的な施設として、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めるとともに、PFなどの手法も視野に入れながら、大規模改修など施設の長寿寿命化を進めます。また、近隣市町や県との連携など、広域による運営、利活用についても検討します。						
	利用用途別分類毎の方向性	これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
	当面適切な維持管理に努める。							

リストNo	04-002	施設コード	00017
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設		
施設名	アクトシティ浜松Dゾーン(楽器博物館・研修交流センター)		
所在(町名・番地)	中央区中央三丁目9-1		
利用者の圏域別分類等	広域	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	課長名 鈴木 三男
	施設	市民部創造都市・文化振興課	課長名 鈴木 三男
設置根拠(法)	—		
条例	アクトシティ浜松条例 浜松市楽器博物館条例		
設置目的	楽器に関する知識を広め、音楽文化の向上に寄与するため(浜松市楽器博物館条例第1条)		
主な利用者	浜松市内に限らず全国から来館があり、年齢層も幼児から高齢者まで幅が広い。		
運営形態	指定管理者		
指定管理または 包括管理委託等の期間	2022/04/01 ~		
管理者名	(公財)浜松市文化振興財団		
開館時間	9:30 ~ 17:00		
建物情報	総延床面積	11,002.91	土地情報
	構造(主要建物)	鉄骨鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	6	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	-	
	建築年月日(主要建物)	1995/2/16	
	経過年数(主要建物)	29	
用途地域		商業地域	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
	一般財源	—	—
特記事項	収入、支出、及び利用状況の一部は「00015アクトシティ浜松Aゾーン」に計上		



項目	2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	36,537	31,038
	国県支出金	0	0
	その他収入	6,475	16,714
	収入計(A)	43,012	47,752
		25,462	
支出(千円)	人件費	52,744	51,182
	物件費(委託料)	1,328	1,695
	維持補修費(修繕費)	159	53
	物件費(光熱水費)	0	0
	物件費(借地料)	0	0
	支出計(B)	54,231	52,930
行政コスト(B-A)		11,219	5,178
収支前年比		216.67	20.63
(参考)指定管理料		48,207	40,264
(参考)減価償却費		56,885	56,885
利用状況	利用コマ数/年	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—
	施設利用者数/年	75,367	64,361
	開館日数/年	332	333
	施設定員数	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—
	蔵書数	—	—
	入居戸数	—	—
	全戸数	—	—
	クラス数	—	—
	生徒数	—	—
B S 情報	有形固定資産(千円)		
	土地	建物	その他
	1,169,654	992,903	—

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2022	空調自動制御機器更新工事	100,100	2015	機能強化・リニューアル改修工事	59,706
2021	アクトシティ浜松A・C・Dゾーン給水・消火設備弁類等更新工事	92,848	2014	Dゾーンエレベーター改修工事	21,098
2021	アクトシティ浜松Dゾーン空調調和機整備工事(4期工事)	56,540			
2020	アクトシティ浜松展示イベントホール及び音楽工房ホール音響設備更新工事	14,741			
2018	楽器博物館天窓改修工事	6,134			
2018	Dゾーンエレベーター更新工事	11,891			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
04-008	浜松科学館	市域	0.2
04-014	浜松復興記念館	地域	1.1
04-033	旧浜松銀行協会	文化財	1.3
04-001	浜松城公園天守閣	広域	1.4
04-009	美術館	市域	1.5
04-015	茶室「松韻亭」	地域	1.6
その他の分類	12-001	アクトシティ浜松Cゾーン(展示イベントホール)	広域
	19-004	観光バス公共駐車場	地域
	09-004	中央保健福祉センター(いきいきプラザ中央)	地域
	10-002	ふれあい交流センターいたや(いきいきプラザ中央)	地域
	19-001	駅北駐車場	地域
	11-003	子育て情報センター	市域
	08-009	なのはな保育園	生活
	03-001	アクトシティ浜松Aゾーン(大ホール・中ホール・コングレスセンター)	広域



基本情報	リストNo	04-002	施設コード	00017	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課		
	施設名	アクトシティ浜松Dゾーン(楽器博物館・研修交流センター)				施設	市民部創造都市・文化振興課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	芸術・文化の拠点の創造と発信							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		楽器に関する知識を広め、音楽文化の向上に寄与するため(浜松市楽器博物館条例第1条)							
		主な業務内容	音楽資料(楽器、楽譜、音楽史等に関する資料)の収集・保管・展示、専門的・技術的な調査研究、講演会・講座等の開催						
		主な利用者	浜松市内に限らず全国から来館があり、年齢層も幼児から高齢者まで幅が広い。						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用者があり、需要は確保されている。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	幅広い年齢層が利用する施設として一定のニーズが見込まれる。							
	特記事項	数々の企画展を開催し、好評を得ている。							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)			年度	事業費(千円)	実施状況		
							のべ募集人員	参加者数	
		事業①	①企画展「おくり魅かれる風・音色～バンドネオンの謎と真実～」		2023	—	—	61,64	
			②特別展「どうする江戸の音楽 天下泰平の世に花開いた楽器 三味線」		2022	—	—	59,98	
			③企画展「響き渡る 日本にやってきたラップ」		2021	—	—	57,59	
		事業②	ミュージアムサロン(通年開催・計6回)		2023	—	—	87	
					2022	—	—	89	
					2021	—	—	77	
事業③		レクチャーコンサート(計5回)		2023	—	—	51		
				2022	—	—	35		
				2021	—	—	48		
事業④		—		2023	—	—	—		
				2022	—	—	—		
				2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	経年劣化による施設設備の損傷・故障等が発生している。一定規模の修繕については指定管理者負担で行ってもらっているものの、大規模な改修や設備更新については市で実施する必要がある。特に舞台設備については、改修に巨額な費用が必要になることから、緊急性の高いものから更新、改修を行っている。							
	対応策	平成23年度に中長期計画、平成27年度に平成28年度から平成32年度までの5年間の短期計画、令和元年度に令和3年度から令和12年度までの10年間の計画、令和2年度に建築後80年までの長期修繕計画を作成し、計画的に改修等を行うとともに、突発的な緊急修繕にも対応していく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
		複合化	—	—	—	—			
	広域化	—	—	—	—				
民生導入	展示の更新やソフト事業の企画・運営などについて、民間活力を活用していく。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	1,020	471	2,281	1人当たりのコスト(円)	149	80	619
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	33,792	15,550	74,705
	1日当たり利用者(人)	227	193	121	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)					供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
縦軸 利用状況、前年収支比率等による評価	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)				利用状況等による評価(横軸)			
	※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	拠点的な施設として、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めるとともに、PFIなどの手法も視野に入れながら、大規模改修など施設の長寿寿命化を進めます。また、近隣市町や県との連携など、広域による運営、利活用についても検討します。						
	利用用途別分類毎の方向性	これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	要検討	(3)その他	—	—
民間との複合施設であり、適切な維持管理に努める。								

リストNo	04-004		施設コード	02339		
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設					
施設名	動物園					
所在(町名・番地)	中央区館山寺町199					
利用者の圏域別分類等	広域		非中山間地域			
財産区分	行政財産		公共用財産		公園	
所管課	本庁	都市整備部動物園		課長名	岩渕 肇	
	施設	都市整備部動物園		課長名	岩渕 肇	
設置根拠(法)		—				
条例		—				
設置目的		実際に見ることで、動作や色、声などそれぞれの動物が持つ様々な特徴を知ってもらい、動物が置かれている環境やいのちの大切さなどについて、学習する場を提供する。 また、動物園としては、飼育動物の種の保存をはじめ、園内で快適に暮らせるよう飼育を通して生態の調査、研究を行う。				
主な利用者		市民全般、観光客				
運営形態		直営				
指定管理または 包括管理委託等の期間		～				
管理者名		—				
開館時間		9:00 ～ 16:30				
建物情報	総延床面積	10,934.34		土地情報	土地面積	217,753.02
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造			うち所有面積	133,361.02
	地上階数(主要建物)	1				
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新				
	耐震工事(主要建物)	-			うち借地面積	84,392.00
	建築年月日(主要建物)	1983/1/1				
	経過年数(主要建物)	41			代表地目(現況地目)	山林
用途地域		市街化調整区域				
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)		計	
設置事業費		—		—	—	
財源	国・県	—		—	—	
	寄付金	—		—	—	
	その他	—		—	—	
	市債	—		—	—	
	一般財源	—		—	—	
特記事項	—					



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	64,936	62,888	62,972
	国県支出金	959	959	959
	その他収入	1,660	2,820	2,613
	収入計（A）	67,555	66,667	66,544
支出（千円）	人件費	230,400	230,400	230,400
	物件費（委託料）	25,561	24,069	24,773
	維持補修費（修繕費）	8,900	16,672	3,672
	物件費（光熱水費）	34,390	39,221	30,929
	物件費（借地料）	13,909	13,917	14,017
	支出計（B）	313,160	324,279	303,791
	行政コスト（B－A）	245,605	257,612	237,247
収支前年比		95.34	108.58	82.34
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		12,067	16,643	19,189
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	301,701	370,342	365,349
	開館日数/年	357	362	362
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産（千円）			
	土地	建物	その他	
	666,845	269,313	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2023	給排水設備改修工事(3期工事)	252,010	2021	汚水処理施設改修工事	4,070
	2023	園内外灯更新工事	20,907	2021	公衆トイレ改築工事(機械設備工事)	28,100
	2022	給排水設備改修工事(3期工事)	110,990	2021	公衆トイレ改築工事(電気設備工事)	8,289
	2022	電気設備室屋根改修工事	14,330	2021	公衆トイレ改築工事(建築工事)	93,470
	2022	園路舗装整備工事	10,589	2020	いのちのふれあいゾーン整備工事(建築工事)	229,550
	2021	給排水設備改修工事(2期工事)2工区	48,389	2020	いのちのふれあいゾーン整備工事(電気設備工事)	55,402
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
	04-005	フラワーパーク	広域		0.6	
	04-019	館山寺ターミナル事務所	地域		1.3	
	04-045	館山寺門前広場・門前通り公共駐車場	小規模等		1.5	
その他の分類	09-012	動物愛護教育センター	市域		0.0	
	08-037	北庄内幼稚園	生活		0.4	
	25-049	上下水道部西営業所			0.5	
	18-064	旧北庄内小学校	地域		0.7	
	14-052	浜松第39分団	コミュニティ		0.9	
	03-096	平松会館	コミュニティ		1.2	
	20-006	平和最終処分場	地域		1.2	
	20-007	静ヶ谷排水処理施設	地域		1.5	
施設周辺地図情報						

基本情報	リストNo	04-004	施設コード	02339	所管課	本庁	都市整備部動物園		
	施設名	動物園			施設	都市整備部動物園			
	人員数	正規職員(人)	30	会計年度任用職員(人)	6	再任用(人)	1		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	動物園の再生							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		実際に見ることで、動作や色、声などそれぞれの動物が持つ様々な特徴を知ってもらい、動物が置かれている環境やいのちの大切さなどについて、学習する場を提供する。 また、動物園としては、飼育動物の種の保存をはじめ、園内で快適に暮らせるよう飼育を通して生態の調査、研究を行う。							
		主な業務内容	動物の飼育・展示、						
		主な利用者	市民全般、観光客						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の需要があり、確保されている						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	少子高齢化が進んでいるが、教育活動(ふれあい含む)の展開により維持の見込み							
	特記事項	H26. 4月 動物愛護教育センター併設							
	主な事業	事業① 動物の飼育・展示 事業② ナイトZOO 事業③ 春の写生大会、秋の写生大会 事業④ 動物学習教室、職場体験学習	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況		
							のべ募集人員	参加者数	
					2023	149,078	—	301,701	
					2022	152,935	—	370,342	
					2021	140,266	—	365,349	
					2023	951	—	9,445	
			2022	1,028	—	10,935			
			2021	724	—	1,743			
			2023	296	—	603			
			2022	254	—	662			
			2021	260	—	663			
			2023	672	—	6,814			
		2022	581	—	5,697				
		2021	413	—	4,435				
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	館山寺地区に移転後、40年近く経過しているため、老朽化により改修等が必要な施設が目立つ。また、開園当初から使用している多くの施設は、動物福祉の観点に配慮した造りとなっていない。 園内は起伏が大きく坂道が多いため、小さな子どもや高齢者にとっては、徒歩のみで観覧するには多少負担が大きい。							
	対応策	動物園再生計画に取組み、動物学習の場の提供、展示動物種及び方法など東海地区における特色ある動物園づくりを目指す。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
		複合化	—	—	—	—			
		広域化	—	—	—	—			
	民生導入	可能な限り、民間活力を導入をするよう検討する。							

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	22,462	23,560	21,697	1人当たりのコスト(円)	814	696	649
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	687,969	711,635	655,378
	1日当たり利用者(人)	845	1,023	1,009	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)					供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
(縦軸) 利用状況、前年収支比率等による評価	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)				利用状況等による評価(横軸)			
	※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の 圏域毎の 方向性	拠点的な施設として、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めるとともに、PFIなどの手法も視野に入れながら、大規模改修など施設の長寿命化を進めます。また、近隣市町や県との連携など、広域による運営、利活用についても検討します。						
	利用用途別 分類毎の 方向性	これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。 館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	要検討	(3)その他	—	—
	当面適切な維持管理に努める。明確な方向性を示したうえでリニューアルを検討するとともに、民間活力導入も検討する。							

リストNo	04-005	施設コード	00464
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設		
施設名	フラワーパーク		
所在(町名・番地)	中央区館山寺町195		
利用者の圏域別分類等	広域	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	公園
所管課	本庁	都市整備部緑政課	課長名 廣野 浩之
	施設	都市整備部緑政課	課長名 廣野 浩之
設置根拠(法)	—		
条例	浜松市都市公園条例		
設置目的	花みどり園芸文化の普及や園芸情報発信機能の強化及び浜名湖周辺の地域振興		
主な利用者	市内外住民及び観光客など		
運営形態	指定管理者		
指定管理または包括管理委託等の期間	2021/04/01 ~		
管理者名	(公財)浜松市花みどり振興財団		
開館時間	9:00 ~ 17:00		
建物情報	総延床面積	6,377.11	土地情報
	構造(主要建物)	鉄骨造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	-	
	建築年月日(主要建物)	2003/3/1	
	経過年数(主要建物)	21	
用途地域		市街化調整区域	土地面積 148,960.04
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
	57,900	—	57,900
財源	国・県	29,000	29,000
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	28,900	28,900
	一般財源	—	—
特記事項	—		



項目	2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	371,806	391,303
	国県支出金	0	0
	その他収入	61,042	25,998
	収入計(A)	432,848	417,301
支出(千円)	人件費	163,197	157,171
	物件費(委託料)	33,879	39,061
	維持補修費(修繕費)	35,430	11,392
	物件費(光熱水費)	20,947	27,598
	物件費(借地料)	0	0
支出計(B)		253,453	235,222
行政コスト(B-A)		-179,395	-182,079
収支前年比		98.53	165.15
(参考)指定管理料		136,200	136,200
(参考)減価償却費		41,498	41,515
利用状況	利用コマ数/年	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—
	施設利用者数/年	394,914	408,881
	開館日数/年	358	362
	施設定員数	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—
	蔵書数	—	—
	入居戸数	—	—
	全戸数	—	—
	クラス数	—	—
	生徒数	—	—
B S 情報	有形固定資産(千円)		
	土地	建物	その他
	634,452	517,512	—

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2023	空調熱源設備他更新工事	54,718	2023	空調熱源設備改修工事	16,162
2023	すみれ橋長寿命化修繕工事	13,285	2022	高架水槽解体撤去工事	9,240
2023	駐車場機器更新工事	46,200	2022	SL屋根塗装工事	6,969
2023	芝生広場北側舗装改修工事	9,281	2021	受変電設備改修工事	46,739
2023	舗装改修工事	18,798	2021	浜松総合公園(はままつフラワーパーク)舗装修繕工事	10,771
2023	園路改良工事	44,658	2021	フラワーパーク東屋新築工事	19,682

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
04-004	動物園	広域	0.6
04-019	館山寺ターミナル事務所	地域	1.7
同分類			
その他の分類	09-012	動物愛護教育センター	市域 0.6
	25-049	上下水道部西営業所	0.6
	08-037	北庄内幼稚園	生活 0.7
	20-006	平和最終処分場	地域 0.7
	03-096	平松会館	コミュニティ 0.8
	18-064	旧北庄内小学校	地域 0.8
	14-052	浜松第39分団	コミュニティ 0.9
	20-007	静ヶ谷排水処理施設	地域 1.5



基本情報	リストNo	04-005	施設コード	00464	所管課	本庁	都市整備部緑政課			
	施設名	フラワーパーク			施設	都市整備部緑政課				
	人員数	正規職員(人)	28	会計年度任用職員(人)	—		再任用(人)	—		
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	緑化推進・緑地保全								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		花みどり園芸文化の普及や園芸情報発信機能の強化及び浜名湖周辺の地域振興								
		主な業務内容	園芸文化の普及							
		主な利用者	市内外住民及び観光客など							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか								
		園内動画投稿等により、新たな顧客層やリピーターを獲得している。								
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測								
		浜名湖観光圏を代表する観光施設として定着し、安定して入園者を確保する。								
		特記事項								
		コロナ収束後のインバウンド需要が見込める。								
	主な事業		事業名・開催回数(2023)				年度	事業費(千円)	実施状況	
									のべ募集人員	参加者数
事業①		はままつフラワーパークの運営				2023	585,757	—	394,914	
						2022	—	—	408,881	
						2021	—	—	352,359	
事業②		—				2023	—	—	—	
						2022	—	—	—	
						2021	—	—	—	
事業③		—				2023	—	—	—	
						2022	—	—	—	
						2021	—	—	—	
事業④		—				2023	—	—	—	
	2022					—	—	—		
	2021					—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	指定管理者制度の導入により、フラワーパークの入園者はV字回復した。安定した入園者を継続して確保するために、魅力を高める施設整備やイベントの開催を進める必要がある。								
	対応策	魅力を高める施設整備や老朽化施設の改修を計画的に実施していく。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
		複合化	—	—	—	—				
		広域化	—	—	—	—				
民生導入	指定管理者制度を導入し、一定の成果を収めている。また、地域民間企業との連携を深め、多角的に支援や協力を得る活動にも注力し、成果を得ている。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	-28,131	-28,552	-17,288	1人当たりのコスト(円)	-454	-445	-313
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	-501,103	-502,981	-341,331
	1日当たり利用者(人)	1,103	1,130	1,091	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)					供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
縦軸 利用状況、前年収支比率等による評価								
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。				利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	拠点的な施設として、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めるとともに、PFIなどの手法も視野に入れながら、大規模改修など施設の長寿寿命化を進めます。また、近隣市町や県との連携など、広域による運営、利活用についても検討します。							
	これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	要検討	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。施設のリニューアル時には、時代に即した施設のあり方を検討する。								

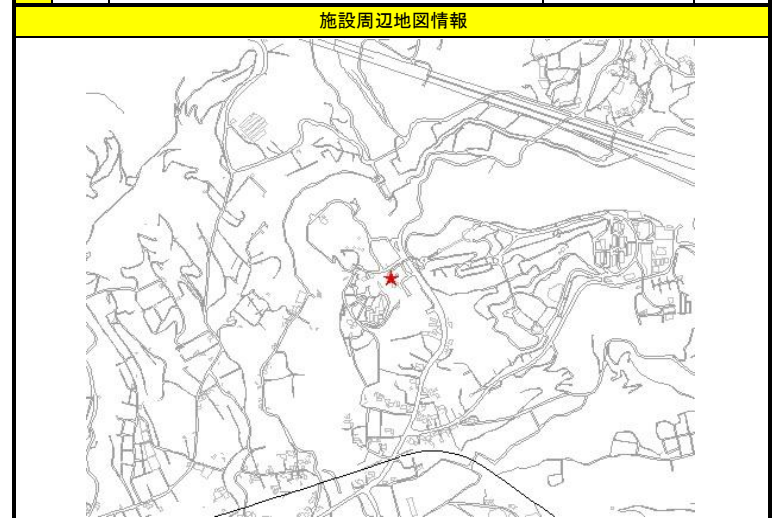
リストNo		04-006	施設コード	00117		
利用用途別分類(施設分類)		文化・観光施設				
施設名		フルーツパーク				
所在(町名・番地)		浜名区都田町4263-1				
利用者の圏域別分類等		広域		非中山間地域		
財産区分		行政財産	公共用財産	その他施設		
所管課	本庁	産業部農業水産課		課長名	森 隆仁	
	施設	産業部農業水産課		課長名	森 隆仁	
設置根拠(法)		—				
条例		浜松市フルーツパーク条例				
設置目的		果実をはじめとする地域の農産物に親しみ、理解を深めることができる場をつくることにより、農業及びその関連事業の振興を図り、もって地域の活性化に資すること。				
主な利用者		市民				
運営形態		指定管理者				
指定管理または 包括管理委託等の期間		2023/04/01 ～				
管理者名		(株)時之栖				
開館時間		9:00 ～ 17:00				
建物情報	総延床面積	11,693.65		土地情報	土地面積	413,968.53
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート一部鉄骨造				
	地上階数(主要建物)	3			うち所有面積	270,372.53
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新				
	耐震工事(主要建物)	—			うち借地面積	143,596.00
	建築年月日(主要建物)	1996/10/1				
	経過年数(主要建物)	27			代表地目(現況地目)	公園
用途地域		市街化調整区域				
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計		
設置事業費		9,814,922	—	9,814,922		
財源	国・県	459,268	—	459,268		
	寄付金	—	—	—		
	その他	371,350	—	371,350		
	市債	—	—	—		
	一般財源	8,984,304	—	8,984,304		
特記事項	—					



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	329,218	323,654	282,411
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	357	579	9,556
	収入計(A)	329,575	324,233	291,967
支出 (千円)	人件費	232,247	196,453	196,810
	物件費(委託料)	18,260	16,805	13,755
	維持補修費(修繕費)	21,860	62,220	13,603
	物件費(光熱水費)	25,895	32,387	21,747
	物件費(借地料)	16,332	16,332	16,446
	支出計(B)	314,594	324,197	262,361
	行政コスト(B-A)	-14,981	-36	-29,606
収支前年比		41613.89	0.12	-18.95
(参考)指定管理料		103,413	87,446	87,446
(参考)減価償却費		58,448	60,382	60,439
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	226,939	242,399	230,759
	開館日数/年	365	366	326
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物		その他
	1,000,555	503,774		—

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2022	自動火災報知設備及び放送設備改修工事	37,950	2018	光配線等改修工事	16,999
2022	温室環境制御装置更新工事(第2期工事)	15,180	2018	汚水処理設備改修工事	9,298
2021	売店空調設備更新工事	13,882	2017	汚水処理設備改修工事	17,344
2019	温室環境制御装置更新工事	8,690	2016	給水設備及び汚水処理設備改修工事	26,126
2018	消防設備復旧及び雷害対策工事	9,962	2015	遊具塗装等改修工事	19,440
2018	中央監視装置更新工事	17,820	2015	放送設備雷害対策工事	6,156

近隣施設				
No	施設名	圏域種別	距離(km)	
04-058	滝沢キャンプ場トイレ	小規模等	1.1	
その他の分類	12-009	農業バイオセンター	市域	0.9
	14-001	消防ヘリポート	広域	1.0
	15-132	都田中学校	生活	1.4
	14-066	浜松第31分団	コミュニティ	1.7
	18-009	大平書庫	地域	1.7
	14-092	雉玉分団大平	コミュニティ	1.7
	03-051	都田協働センター	生活	1.8



基本情報	リストNo	04-006	施設コード	00117	所管課	本庁	産業部農業水産課		
	施設名	フルーツパーク			施設	産業部農業水産課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	果樹産地活性化特別対策事業場、農林業体験実習館							
施設運営分析	関連政策名	生産基盤の安定による農業振興							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		果実をはじめとする地域の農産物に親しみ、理解を深めることができる場をつくることにより、農業及びその関連事業の振興を図り、もって地域の活性化に資すること。							
		主な業務内容	施設運営業務、施設維持管理業務						
		主な利用者	市民						
		設置目的の継続性・妥当性							
			設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用者があり、需要は確保されている。					
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	地域に親しまれる施設として根付いており一定のニーズが継続して見込める						
		特記事項	—						
	主な事業		事業名・開催回数(2023)			年度	事業費(千円)	実施状況	
								のべ募集人員	参加者数
		事業①	—		2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
					2021	—	—	—	
事業②		—		2023	—	—	—		
				2022	—	—	—		
				2021	—	—	—		
事業③		—		2023	—	—	—		
				2022	—	—	—		
				2021	—	—	—		
事業④		—		2023	—	—	—		
				2022	—	—	—		
			2021	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	設置後26年が経っているため、施設及び設備の老朽化が進んでおり、交換部品のない設備も増えてきているため、早期に更新を行っていく必要がある。							
	対応策	修繕計画に基づき、利用者の安全性や施設の運営に与える影響の大きさを考慮して、更新を行っていく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
		複合化	—	—	—	—			
	広域化	—	—	—	—				
民生導入	指定管理施設として運営しており、指定管理者の行う施設整備や自主事業を積極的に認めることで民間活力を活用していく。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	-1,281	-3	-2,532	1人当たりのコスト(円)	-66	0	-128
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	-41,044	-98	-90,816
	1日当たり利用者(人)	622	662	708	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)					供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
縦軸 利用状況、前年収支比率等による評価	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)				利用状況等による評価(横軸)			
	※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	拠点的な施設として、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めるとともに、PFIなどの手法も視野に入れながら、大規模改修など施設の長寿命化を進めます。また、近隣市町や県との連携など、広域による運営、利活用についても検討します。						
	利用用途別分類毎の方向性	これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。 館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	要検討	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。施設のリニューアル時には、時代に即した施設のあり方を検討する。								

リストNo		04-007		施設コード		04366	
利用用途別分類(施設分類)		文化・観光施設					
施設名		国民宿舎奥浜名湖					
所在(町名・番地)		浜名区細江町気賀1023-1					
利用者の圏域別分類等		広域			非中山間地域		
財産区分		行政財産		公共用財産		その他施設	
所管課	本庁	産業部観光・シティプロモーション課			課長名	須藤 俊英	
	施設	浜名区・北行政センター			課長名	堤 信弘	
設置根拠(法)		—					
条例		浜松市国民宿舎奥浜名湖条例					
設置目的		市民の保健休養及び福祉の向上並びに観光の振興を図るため。					
主な利用者		浜松市民、観光客					
運営形態		指定管理者					
指定管理または 包括管理委託等の期間		2024/04/01 ～					
管理者名		ヤタロー・共同グループ					
開館時間		9:00 ～ 21:00					
建物情報	総延床面積	3,143.18		土地情報	土地面積		4,075.64
	構造(主要建物)	鉄骨造					
	地上階数(主要建物)	4			うち所有面積		0.00
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新					
	耐震工事(主要建物)	-			うち借地面積		4,075.64
	建築年月日(主要建物)	2003/12/13					
	経過年数(主要建物)	20			代表地目(現況地目)		
用途地域		市街化調整区域					
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計	
設置事業費		—		—		—	
財源	国・県	—		—		—	
	寄付金	—		—		—	
	その他	—		—		—	
	市債	—		—		—	
	一般財源	—		—		—	
特記事項	設備定期点検等のため19日間全館休館						



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	248,488	187,565	125,745
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	17,162	13,102	23,136
	収入計（A）	265,650	200,667	148,881
支出（千円）	人件費	76,836	53,526	62,391
	物件費（委託料）	16,096	11,165	8,451
	維持補修費（修繕費）	6,775	5,260	71,843
	物件費（光熱水費）	17,561	20,198	16,310
	物件費（借地料）	1,350	1,350	1,350
	支出計（B）	118,618	91,499	160,345
	行政コスト（B－A）	-147,032	-109,168	11,464
収支前年比		134.68	-952.27	-32.06
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		16,162	16,162	16,162
利用状況	利用コマ数／年	5,295	4,156	2,759
	利用可能コマ数／年	11,451	10,263	7,344
	施設利用者数／年	65,602	53,080	40,332
	開館日数／年	347	311	251
	施設定員数	110	110	110
	図書貸出冊数／年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
BS情報	有形固定資産（千円）			
	土地	建物	その他	
	0	141,555	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2023	厨房給排気ファン等更新工事	20,229	2018	国民宿舎奥浜名湖ロビー屋上防水改修工事	5,832
	2021	電話設備更新工事	3,630	2017	国民宿舎奥浜名湖厨房屋根他防水改修工事	3,750
	2021	共用部エアコン更新工事	59,510	2017	国民宿舎奥浜名湖客室エアコン更新工事	15,247
	2019	国民宿舎奥浜名湖客室他屋根改修工事	7,827	2016	温水設備ろ過設備改修工事	17,496
	2018	国民宿舎奥浜名湖エレベーター改修工事	3,985	2012	3階デッキ天井壁破損修繕工事	4,379
	2018	国民宿舎奥浜名湖浄化槽移転新設工事	69,638			
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
	04-021	姫街道と銅鐸の歴史民俗資料館	地域		0.1	
	04-024	気賀関所	地域		0.5	
	04-023	奥浜名湖田園空間博物館総合案内所	地域		0.6	
その他の分類	15-067	気賀小学校	生活		0.4	
	03-012	みをつくし文化センター	地域		0.5	
	06-015	細江図書館	地域		0.5	
	10-014	細江介護予防センター	地域		0.5	
	15-129	細江中学校	生活		0.5	
	09-006	細江健康センター	地域		0.5	
	01-017	北行政センター	地域		0.5	
	08-053	中央幼稚園	生活		0.6	
施設周辺地図情報						

基本情報	リストNo	04-007	施設コード	04366	所管課	本庁	産業部観光・シティプロモーション課		
	施設名	国民宿舎奥浜名湖			施設	浜名区・北行政センター			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	観光・コンベンションの振興による地域経済の活性化							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		市民の保健休養及び福祉の向上並びに観光の振興を図るため。							
		主な業務内容	国民宿舎の利用の許可に関する業務、国民宿舎の施設及び設備の維持管理に関する業務						
		主な利用者	浜松市民、観光客						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用者があり、需要は確保されている。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	市民の保健休養及び福祉の向上並びに観光振興施設として一定の需要が見込まれる。							
	特記事項	—							
	主な事業		事業名・開催回数(2023)			年度	事業費(千円)	実施状況	
								のべ募集人員	参加者数
		事業①	—			2023	—	—	—
						2022	—	—	—
						2021	—	—	—
事業②		—			2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
					2021	—	—	—	
事業③		—			2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
					2021	—	—	—	
事業④		—			2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
				2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	施設のリニューアルから15年以上を経過し、経年劣化による施設設備の損傷・故障等が発生している。指定管理者制度導入施設であり、リスク分担に基づいて、一定規模の修繕については、指定管理者において実施しているものの、大規模な改修等は市で実施する必要がある。							
	対応策	優先度を設定し修繕計画を立て、計画的に修繕を行うとともに、突発的な緊急修繕には事後保全により対応していく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	○	—	施設の状況を見て、継続、貸付、廃止など様々な可能性を検討			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
		複合化	—	—	—	—			
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	平成23年度に指定管理者制度を導入済み。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	-46,778	-34,732	3,647	1人当たりのコスト(円)	-2,241	-2,057	284
	施設利用率(%)	46.2	40.5	37.6	1開館日当たりのコスト(円)	-423,723	-351,023	45,673
	1日当たり利用者(人)	189	171	161	1定員当たりのコスト(円)	-1,336,655	-992,436	104,218
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)					供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
縦軸 利用状況、前年収支比率等による評価	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)				利用状況等による評価(横軸)			
	※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の 圏域毎の 方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点的施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別 分類毎の 方向性	これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。館山寺総合公園(フラワerpark・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワerparkとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
現在の運営状況等を踏まえ、当面の間は、現行の指定管理による運営を継続する。								

リストNo		04-008		施設コード		05123		
利用用途別分類(施設分類)		文化・観光施設						
施設名		浜松科学館						
所在(町名・番地)		中央区北寺島町256-3						
利用者の圏域別分類等		市域			非中山間地域			
財産区分		行政財産		公共用財産		その他施設		
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課 生涯学習担当		課長名	加藤 元一			
	施設	市民部創造都市・文化振興課 生涯学習担当		課長名	加藤 元一			
設置根拠(法)		—						
条例		浜松科学館条例						
設置目的		科学に関する知識の普及及び啓発を図る(浜松科学館条例第1条)						
主な利用者		保育園・幼稚園の園児、小・中・高校の児童・生徒、一般						
運営形態		指定管理者						
指定管理または 包括管理委託等の期間		2019/07/01 ～						
管理者名		乃村工藝社・SBSプロモーション共同事業体						
開館時間		9:30 ～ 17:00						
建物情報	総延床面積	6,891.95		土地情報	土地面積	9,852.78		
	構造(主要建物)	鉄骨鉄筋コンクリート造			うち所有面積	9,852.78		
	地上階数(主要建物)	4				うち借地面積	0.00	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新						
	耐震工事(主要建物)	—						
	建築年月日(主要建物)	1986/1/1			代表地目(現況地目)		宅地	
	経過年数(主要建物)	38						
用途地域		商業地域						
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計		
設置事業費		3,478,046		—		3,478,046		
財源	国・県	169,970		—		169,970		
	寄付金	14,000		—		14,000		
	その他	100,000		—		100,000		
	市債	2,599,500		—		2,599,500		
	一般財源	594,576		—		594,576		
特記事項	—							



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	60,666	61,198	38,419
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	15,078	6,293	2,861
	収入計（A）	75,744	67,491	41,280
支出（千円）	人件費	122,766	124,244	121,339
	物件費（委託料）	34,700	34,963	35,708
	維持補修費（修繕費）	5,421	6,461	9,071
	物件費（光熱水費）	34,076	47,400	30,437
	物件費（借地料）	0	0	0
	支出計（B）	196,963	213,068	196,555
行政コスト（B－A）		121,219	145,577	155,275
収支前年比		83.27	93.75	94.11
（参考）指定管理料		140,711	151,871	150,826
（参考）減価償却費		95,994	95,994	95,994
利用状況	利用コマ数／年	220	193	28
	利用可能コマ数／年	3,949	4,342	815
	施設利用者数／年	215,474	186,949	128,183
	開館日数／年	314	313	312
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数／年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	995,649	1,151,929	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2018	浜松科学館大規模改修工事 プラネタリウム改修工事	219,510			
2018	浜松科学館大規模改修工事 機械設備工事	379,756			
2018	浜松科学館大規模改修工事 電気設備工事	61,386			
2018	浜松科学館大規模改修工事 建築工事	178,124			
2014	ようこそLEDの世界へ(展示更新工事)	14,990			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
04-002	アクトシティ浜松Dゾーン(楽器博物館・研修交流センター)	広域	0.2
04-014	浜松復興記念館	地域	1.2
04-033	旧浜松銀行協会	文化財	1.4
04-001	浜松城公園天守閣	広域	1.6
04-009	美術館	市域	1.7
04-015	茶室「松韻亭」	地域	1.8
12-001	アクトシティ浜松Cゾーン(展示イベントホール)	広域	0.1
19-001	駅北駐車場	地域	0.2
14-033	浜松第5分団	コミュニティ	0.2
18-002	北寺島倉庫	地域	0.3
11-003	子育て情報センター	市域	0.3
08-009	なのはな保育園	生活	0.3
19-004	観光バス公共駐車場	地域	0.4
09-004	中央保健福祉センター(いきいきプラザ中央)	地域	0.4



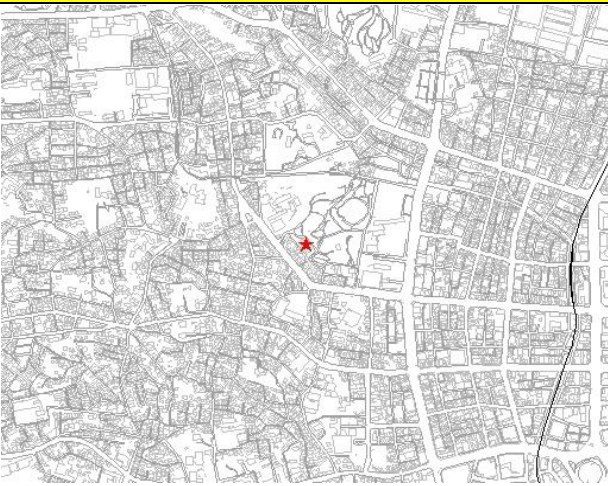
基本情報	リストNo	04-008	施設コード	05123	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当	
	施設名	浜松科学館			所管課	施設	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		科学に関する知識の普及及び啓発を図る(浜松科学館条例第1条)							
		主な業務内容	展示業務、貸館(ホール・講座室)業務、科学学習等講座開催業務						
		主な利用者	保育園・幼稚園の園児、小・中・高校の児童・生徒、一般						
		設置目的の継続性・妥当性							
			設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	子供たちの科学学習の拠点として需要がある。					
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	子供たちのほか、大人の知的好奇心の高まりによる需要増が期待される。						
		特記事項	進歩する科学に触れ未来を想像することによる次代の人材の育成が求められている。						
	主な事業		事業名・開催回数(2023)			年度	事業費(千円)	実施状況	
								のべ募集人員	参加者数
		事業①	サイエンスショー実施事業 科学館のメインコンテンツとして演者と参加者がショーを通して交流することを目的に、予測したり考えたりするプロセスを重視したプログラムを1日5回、計163回実施。	2023	—	—	50,556		
				2022	—	—	51,110		
				2021	—	—	39,096		
		事業②	プラネタリウム投影事業 キッズプラネタリウム、生解説プラネタリウム、大型映像及び学習投影を実施。計1,261回実施。 ※2021年度は機器リニューアルに伴い休止期間あり	2023	—	—	81,861		
2022				—	—	82,522			
2021				—	—	39,518			
事業③		ミニワークショップ実施事業 観察、実験、工作等のプログラムを通してスタッフと利用者がコミュニケーションを図りながら、体験時間30分未満で気軽に参加できるように実施。1日1回、計320回実施。 「友の特別展」開催事業	2023	—	—	13,981			
			2022	—	—	16,659			
			2021	—	—	18,526			
事業④		身近な道具を通して、光について体験しながら学べるもので、一般的な光展示とは異なる浜松科学館らしい展示を実施。計43日間実施。 ※2021年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため実施せず	2023	—	—	8,764			
	2022		—	—	7,038				
	2021		—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	引き続き、経年劣化に対応していく必要がある。							
	対応策	各種点検を実施し、緊急性の高いものから修繕等を実施していく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
		複合化	—	—	—	—			
		広域化	—	—	—	—			
民生導入	2006年度より指定管理制度を導入しており、今後も指定管理による運営を継続していく。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	17,588	21,123	22,530	1人当たりのコスト(円)	563	779	1,211
	施設利用率(%)	5.6	4.4	3.4	1開館日当たりのコスト(円)	386,048	465,102	497,676
	1日当たり利用者(人)	686	597	411	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)					供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
(縦軸) 利用状況、前年収支比率等による評価	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)				利用状況等による評価(横軸)			
	※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の 圏域毎の 方向性	各用途別で必要に応じ、1施設から2施設程度の配置を基本とします。利用状況など、将来的見通しを踏まえた上で、市域施設としての位置づけそのものを常に検討しつつ、民間への移管や、拠点的な施設として広域同様に、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、PFIなどの手法も検討しつつ、最適な管理運営と長寿化に取り組めます。						
	利用用途別 分類毎の 方向性	これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。 館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	要検討	(3)その他	展示・備品更新	
令和元年度にリニューアルオープン。今後は、適切な維持管理に努め、施設の長寿化を図る。なお、2024年と2026年に一部展示更新を予定している。								

リストNo		04-009	施設コード	02341	
利用用途別分類(施設分類)		文化・観光施設			
施設名		美術館			
所在(町名・番地)		中央区松城町100-1			
利用者の圏域別分類等		市域		非中山間地域	
財産区分		行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部美術館		課長名	飯室 仁志
	施設	市民部美術館		課長名	飯室 仁志
設置根拠(法)		博物館法			
条例		浜松市美術館条例			
設置目的		市民の美術に対しての知識及び教養の向上並びに文化の振興に資するため博物館法(昭和26年法律第285号)に基づき設置(浜松市美術館条例第1条)			
主な利用者		市民(児童・生徒含む)、観光客、行政視察者など			
運営形態		直営			
指定管理または包括管理委託等の期間		～			
管理者名		—			
開館時間		9:30 ～ 17:00			
建物情報	総延床面積	2,621.72	土地情報	土地面積	0.00
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	0.00
	地上階数(主要建物)	2			
	耐震性能(Is値)(主要建物)	1.16			
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	1971/7/1			
	経過年数(主要建物)	52			
用途地域		第二種住居地域			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		250,000	—	250,000	
財源	国・県	15,000	—	15,000	
	寄付金	100,000	—	100,000	
	その他	—	—	—	
	市債	50,000	—	50,000	
	一般財源	85,000	—	85,000	
特記事項	—				



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	13,447	3,364	4,451
	国県支出金	0	6,401	6,800
	その他収入	38,453	333	318
	収入計（A）	51,900	10,098	11,569
支出（千円）	人件費	69,741	69,907	53,437
	物件費（委託料）	9,935	8,205	8,564
	維持補修費（修繕費）	1,278	2,265	2,042
	物件費（光熱水費）	15,440	20,185	14,338
	物件費（借地料）	0	0	0
	支出計（B）	96,394	100,562	78,381
	行政コスト（B－A）	44,494	90,464	66,812
収支前年比		49.18	135.40	80.00
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		1,253	1,253	19,554
利用状況	利用コマ数／年	—	—	—
	利用可能コマ数／年	—	—	—
	施設利用者数／年	129,491	78,159	61,413
	開館日数／年	188	194	199
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数／年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
BS情報	有形固定資産（千円）			
	土地	建物	その他	
	0	38,898	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2020	防火扉改修工事	9,638	2017	施設大規模改修及びトラックヤード増築工事(電気設備工事)	55,690
	2018	チリングユニット防音対策工事	4,104	2016	湯沸し室流し改修工事	1,026
	2017	展示室照明設備改修工事	14,580	2016	配線ダクト改修工事	2,376
	2017	屋上防水改修工事	8,100	2013	地下タンク改修工事	1,596
	2017	施設大規模改修及びトラックヤード増築工事(機械設置工事)	124,155	2012	ハロンガス消火設備更新工事	1,796
	2017	施設大規模改修及びトラックヤード増築工事(建築工事)	118,627	2011	第二収蔵庫空調設備設置工事	2,583
近隣施設						
同分類	No	施設名		圏域種別		距離(km)
	04-001	浜松城公園天守閣		広域		0.1
	04-015	茶室「松韻亭」		地域		0.4
	04-014	浜松復興記念館		地域		0.7
	04-033	旧浜松銀行協会		文化財		0.8
	04-016	犀ヶ崖資料館		地域		1.0
	04-013	賀茂真淵記念館		地域		1.4
	04-002	アクトシティ浜松Dゾーン(楽器博物館・研修交流センター)		広域		1.5
04-008	浜松科学館		市域		1.7	
その他の分類	15-100	浜松中部学園(中部小学校・中学校)		生活		0.1
	01-001	本庁舎		市域		0.2
	07-073	中部学園放課後児童会		生活		0.3
	06-001	中央図書館		市域		0.3
	07-006	広沢子育て支援ひろば		生活		0.5
	14-002	消防局・中消防署		市域		0.5
	14-029	浜松第1分団		コミュニティ		0.5
	01-002	元目分庁舎		市域		0.6
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	04-009	施設コード	02341	所管課	本庁	市民部美術館		
	施設名	美術館			施設	市民部美術館			
	人員数	正規職員(人)	9	会計年度任用職員(人)	1	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	美術館の魅力の創出							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		市民の美術に対する知識及び教養の向上並びに文化の振興に資するため博物館法(昭和26年法律第285号)に基づき設置(浜松市美術館条例第1条)							
		主な業務内容	特別展・館蔵品展等の開催及び美術品の収集・保存並びに調査・研究、教育普及活動等						
		主な利用者	市民(児童・生徒含む)、観光客、行政視察者など						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			美術鑑賞に対して一定の利用があり需要は確保されている。				
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後も美術鑑賞に対する一定の利用が予想される。				
	特記事項			芸術・文化の主要施設として、必要不可欠である。					
	主な事業	事業① 事業② 事業③ 事業④	事業名・開催回数(2023)			年度	事業費(千円)	実施状況	
								のべ募集人員	参加者数
			特別展・企画展開催事業 開催日数:148日 企画展「北斎展」「新・山本二三展」「みほとけのキセキⅡ」			2023	45,200	70,000	70,451
						2022	47,115	55,000	30,945
						2021	37,876	73,000	56,940
			平常展等開催事業 開催日数:112日 「館蔵品展」「第71回市展」「子どもの市展」			2023	4,849	15,000	59,036
						2022	3,538	25,000	30,936
						2021	2,936	6,500	4,471
—			2023	—	—	—			
			2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
—			2023	—	—	—			
			2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課 記入欄	課題	既存施設は築50年を超えているため、経年劣化による施設・設備の損傷が毎年発生している。長寿命化基本方針に示す目標使用年数80年までに新たな美術館整備方針の検討が必要。							
	対応策	既存施設においては当面、長寿命化計画方針に沿った改修を行うとともに、緊急性の高いものから修繕を行う。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
		複合化	—	—	○	建替えに向けて検討を行う際、複合化の方向性も含めて検討する			
		広域化	—	—	—	—			
民生導入	建替えに向けて検討を行う際、PPP/PFI及び指定管理の方向性も含めて検討する								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	16,971	34,506	25,484	1人当たりのコスト(円)	344	1,157	1,088
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	236,670	466,309	335,739
	1日当たり利用者(人)	689	403	309	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)

供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)

縦軸：利用状況、前年収支比率等による評価

前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価

建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)

利用状況等による評価(横軸)

※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

利用者の圏域毎の方向性

利用用途別分類毎の方向性

各用途別に応じ、1施設から2施設程度の配置を基本とします。利用状況など、将来的見通しを踏まえた上で、市域施設としての位置づけそのものを常に検討しつつ、民間への移管や、拠点的な施設として広域同様に、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、PFIなどの手法も検討しつつ、最適な管理運営と長寿化に取り組めます。

これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。

館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。

個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他

長寿命化計画に沿った改修及び緊急性の高いものからの修繕の実施により、施設・設備の適切な維持管理を行うことで、良好な美術環境を提供する。

リストNo		04-010	施設コード	02340	
利用用途別分類(施設分類)		文化・観光施設			
施設名		博物館			
所在(町名・番地)		中央区蛸塚四丁目22-1			
利用者の圏域別分類等		市域		非中山間地域	
財産区分		行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部博物館		課長名	鈴木 一有
	施設	市民部博物館		課長名	鈴木 一有
設置根拠(法)		博物館法			
条例		浜松市博物館条例			
設置目的		教育、学術及び文化の発展に寄与するため設置(浜松市博物館条例第1条)			
主な利用者		市民、児童生徒、観光客			
運営形態		直営			
指定管理または 包括管理委託等の期間		～			
管理者名		—			
開館時間		9:00 ～ 17:00			
建物情報	総延床面積	3,197.90	土地情報	土地面積	0.00
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	0.00
	地上階数(主要建物)	2			
	耐震性能(Is値)(主要建物)	1.12			
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	1979/4/1			
	経過年数(主要建物)	45			
用途地域		第一種中高層住居専用地域			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		867,336	—	867,336	
財源	国・県	178,000	—	178,000	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	450,000	—	450,000	
	一般財源	239,336	—	239,336	
特記事項	蛸塚遺跡(公園)の借地料を含む。				



項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	2,633	3,501	2,467
	国県支出金	0	0	864
	その他収入	1,835	3,211	2,345
	収入計(A)	4,468	6,712	5,676
	人件費	86,077	86,029	85,987
支出(千円)	物件費(委託料)	7,359	6,844	9,903
	維持補修費(修繕費)	1,790	1,519	2,188
	物件費(光熱水費)	7,986	8,781	5,853
	物件費(借地料)	4,448	4,471	4,424
	支出計(B)	107,660	107,644	108,355
行政コスト(B-A)		103,192	100,932	102,679
収支前年比		102.24	98.30	100.63
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		23,539	23,539	23,539
利用状況	利用コマ数/年	2,954	4,499	2,353
	利用可能コマ数/年	7,200	6,816	6,720
	施設利用者数/年	34,325	42,963	54,046
	開館日数/年	305	284	280
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	141,232	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2023	館内防犯カメラシステム設置工事	4,730	2013	特別展示室・講座室空調設備改修工事	23,734
	2019	浜松市博物館屋根改修工事	12,338	2011	ハロンガス消火設備更新工事	8,610
	2019	令和元年度 浜松市博物館講座室修繕工事	4,649	2010	常設展示室改修工事	37,779
	2015	空調熱源設備改修工事	25,920	2010	特別展示室他改修工事	4,174
	2015	正面玄関前広場改修工事	18,058	2008	空調設備改修工事(機械設備工事)	24,570
	2014	体験学習室他空調設備改修工事	10,908	2008	展示室コンコース空調機更新工事	17,094

近隣施設			
同分類	No	施設名	圏域種別 距離(km)
	04-034	蛸塚遺跡	文化財 0.0
	04-035	旧高山家	文化財 0.0
	04-016	犀ヶ崖資料館	地域 1.6
	04-013	賀茂真淵記念館	地域 1.7
	04-009	美術館	市域 1.9
	04-015	茶室「松韻亭」	地域 1.9
	04-001	浜松城公園天守閣	広域 2.0
その他の分類	16-001	看護専門学校	市域 0.4
	22-001	浜松医療センター	広域 0.4
	15-109	蛸塚中学校	生活 0.5
	13-018	蛸塚団地	地域 0.7
	24-003	鴨江雨水調整池	— 0.8
	15-099	佐鳴台中学校	生活 0.8
	07-009	さなる放課後児童会	生活 0.9
	26-007	御前谷ポンプ場	— 0.9



基本情報	リストNo	04-010	施設コード	02340	所管課	本庁	市民部博物館		
	施設名	博物館			施設	市民部博物館			
	人員数	正規職員(人)	9	会計年度任用職員(人)	7	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	地域の文化遺産の保全・活用							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		教育、学術及び文化の発展に寄与するため設置(浜松市博物館条例第1条)							
		主な業務内容	市域の文化財の収集保管・展示、歴史情報の調査と公開、歴史体験講座、移動博物館等						
		主な利用者	市民、児童生徒、観光客						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		地域史の検証と歴史文化の継承の場として重要性が高まる。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		地域の歴史文化を創造する中核都市としての役割が増す。						
	特記事項		中核館として地域拠点5館、文化財収蔵庫、公園を管理						
	主な事業	事業名・開催回数(2023)				年度	事業費(千円)	実施状況	
								のべ募集人員	参加者数
		事業①	常設展・テーマ展・特別展開催事業			2023	1,176	不特定	26,231
						2022	13,203	不特定	31,541
						2021	2,366	不特定	29,311
		事業②	講座・体験館等開催事業			2023	1,123	不特定	7,611
						2022	1,751	不特定	11,411
						2021	1,797	不特定	19,421
事業③		学校・団体利用事業			2023	—	不特定	7,421	
					2022	—	不特定	8,731	
					2021	—	不特定	8,101	
事業④	—			2023	—	—	—		
				2022	—	—	—		
				2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	築40年が経過し、長寿命化を図るための大規模改修が必要な時期にきている。							
	対応策	必要な修繕、長寿命化対策工事を行う。 博物館のリニューアルに向けて構想・計画を策定する。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
		複合化	—	—	—	—			
		広域化	—	—	—	—			
民生導入	縄文遺跡の保存活用と併せた再整備として、将来像及び事業手法を検討している。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	32,269	31,562	32,108	1人当たりのコスト(円)	3,006	2,349	1,900	
	施設利用率(%)	41.0	66.0	35.0	1開館日当たりのコスト(円)	338,334	355,394	366,711	
	1日当たり利用者(人)	113	151	193	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)					供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
縦軸 利用状況、前 年収支比率等 による評価									
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)				利用状況等による評価(横軸)				
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考 公共施設等 総合管理計画 (令和3年4月 改訂)より抜 粋	利用者の 圏域毎の 方向性	各用途別で必要に応じ、1施設から2施設程度の配置を基本とします。利用状況など、将来的見通しを踏まえた上で、地域施設としての位置づけそのものを常に検討しつつ、民間への移管や、拠点的な施設として広域同様に、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、PFIなどの手法も検討しつつ、最適な管理運営と長寿化に取り組めます。							
	利用用途別 分類毎の 方向性	これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	指定管理	(2)改修・更新時	検討中	(3)その他	展示・備品更新		
史跡蛸塚遺跡保存活用計画と連携して、博物館のリニューアルに向けて構想・計画を策定する。									

リストNo	04-011	施設コード	00021
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設		
施設名	あらたまの湯		
所在(町名・番地)	浜名区四大地9-921		
利用者の圏域別分類等	市域	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	産業部観光・シティプロモーション課	課長名 須藤 俊英
	施設	浜名区・まちづくり推進課	課長名 山本 佳弘
設置根拠(法)	条例		
条例	浜松市浜北温泉施設あらたまの湯条例		
設置目的	福祉の向上及び健康の増進並びに地域の観光振興を図る		
主な利用者	観光客、市民等		
運営形態	指定管理者		
指定管理または 包括管理委託等の期間	2020/04/01 ~		
管理者名	浜名梱包輸送(株)		
開館時間	9:00 ~ 21:00		
建物情報	総延床面積	2,069.72	土地情報
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	-	
	建築年月日(主要建物)	2007/3/16	
	経過年数(主要建物)	17	
用途地域		市街化調整区域	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
	一般財源	—	—
特記事項	—		



項目	2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	154,917	153,131
	国県支出金	0	0
	その他収入	110,126	93,520
	収入計(A)	265,043	246,651
支出(千円)	人件費	61,277	54,034
	物件費(委託料)	14,078	13,219
	維持補修費(修繕費)	23,887	7,933
	物件費(光熱水費)	61,510	72,743
	物件費(借地料)	0	0
	支出計(B)	160,752	147,929
行政コスト(B-A)		-104,291	-98,722
収支前年比		105.64	235.18
(参考)指定管理料		0	0
(参考)減価償却費		25,210	25,210
利用状況	利用コマ数/年	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—
	施設利用者数/年	261,153	258,346
	開館日数/年	314	340
	施設定員数	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—
	蔵書数	—	—
	入居戸数	—	—
	全戸数	—	—
	クラス数	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)		
	土地	建物	その他
	7	409,102	—

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2023	源泉施設復旧工事	12,870	2015	源泉施設 湯湯ポンプ取替工事	5,994
2021	令和3年度 浜北温泉施設「あらたまの湯」源泉施設復旧工事	11,176	2013	源泉施設湯湯ポンプオーバーホール工事	7,875
2020	令和5年度 浜北温泉施設「あらたまの湯」源泉施設湯湯ポンプ設備改善工事	11,012	2013	救護室新設工事	4,095
2019	源泉施設復旧工事	8,239	2008	湯湯ポンプオーバーホール工事	4,552
2018	浜北温泉施設「あらたまの湯」源泉施設湯湯ポンプ設備復旧工事(災害復旧)	11,556	2006	(仮称)浜北温泉施設建設工事(建築工事)	535,500
2017	平成29年度浜北温泉施設「あらたまの湯」源泉施設湯湯ポンプ取替工事	6,264	2006	(仮称)浜北温泉施設建設工事(給排水衛生設備工事)	159,131

近隣施設				
No	施設名	圏域種別	距離(km)	
その他の分類	21-004	浜北斎場	地域	0.2
	20-013	浜北環境センター	地域	0.7
	15-136	彦玉中学校	生活	0.9
	05-023	明神池運動公園	地域	1.1
	13-065	宮口団地	地域	1.4
	07-061	彦玉イーグルクラブ	生活	1.4
	15-084	彦玉小学校	生活	1.4
	08-062	宮口幼稚園	生活	2.0



基本情報	リストNo	04-011	施設コード	00021	所管課	本庁	産業部観光・シティプロモーション課		
	施設名	あらたまの湯			施設	浜名区・まちづくり推進課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	観光・コンベンションの振興による地域経済の活性化							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		福祉の向上及び健康の増進並びに地域の観光振興を図る							
		主な業務内容	温泉施設入浴の提供						
		主な利用者	観光客、市民等						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用者があり需要は確保されている。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	利用者数は堅調に推移することが見込まれる。							
	特記事項	固定客が多い。							
	主な事業		事業名・開催回数(2023)			年度	事業費(千円)	実施状況	
								のべ募集人員	参加者数
		事業①	—			2023	—	—	—
						2022	—	—	—
						2021	—	—	—
事業②		—			2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
					2021	—	—	—	
事業③		—			2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
					2021	—	—	—	
事業④		—			2023	—	—	—	
				2022	—	—	—		
				2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	温泉湯沸ポンプの故障が頻発しているほか、経年劣化による施設根本に係る設備の不具合が増えてきている状況である。							
	対応策	基本協定に基づき修繕を行っているが、施設管理者とのリスク分担を基本に予算の範囲内において優先順位を付けて平準化し、計画的に必要な改修を行っていく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
		複合化	—	—	—	—			
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	引き続き、指定管理による運営を実施していく。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	-50,389	-47,698	-20,282	1人当たりのコスト(円)	-399	-382	-234
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	-332,137	-290,359	-151,000
	1日当たり利用者(人)	832	760	646	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
(縦軸) 利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸) 前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価		
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)	

参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の 圏域毎の 方向性	各用途別で必要に応じ、1施設から2施設程度の配置を基本とします。利用状況など、将来的見通しを踏まえた上で、市域施設としての位置づけそのものを常に検討しつつ、民間への移管や、拠点的な施設として広域同様に、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、PFIなどの手法も検討しつつ、最適な管理運営と長寿命化に取り組めます。					
	利用用途別 分類毎の 方向性	これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。 館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。					

個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—

現行の指定管理による運営を継続する。また、施設の修繕計画を作成し、計画的な維持修繕を実施していく。

リストNo	04-012	施設コード	01172
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設		
施設名	秋野不矩美術館		
所在(町名・番地)	天竜区二俣町二俣130		
利用者の圏域別分類等	市域	中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	市民部美術館	課長名 飯室 仁志
	施設	市民部美術館	課長名 飯室 仁志
設置根拠(法)	博物館法		
条例	浜松市美術館条例		
設置目的	郷土の作家、秋野不矩の作品を収集、保管、調査研究を行い、研究成果を様々な展覧会を通して広く市民に紹介する。また、他地区の美術館や博物館との連携も深めながら、地域の文化、創造を発信する拠点としての機能も担っていく。		
主な利用者	市民(児童・生徒含む)、観光客、行政視察者など		
運営形態	指定管理者		
指定管理または包括管理委託等の期間	2022/04/01 ~		
管理者名	公益財団法人浜松市文化振興財団		
開館時間	9:30 ~ 17:00		
建物情報	総延床面積	999.64	土地情報
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	2	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	-	
	建築年月日(主要建物)	1997/11/18	
	経過年数(主要建物)	26	
用途地域		第二種中高層住居専用地域	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
設置事業費	1,131,244	—	1,131,244
財源	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
	一般財源	1,131,244	1,131,244
特記事項	—		



項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	9,422	0	6,147
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	2,173	4	1,573
	収入計(A)	11,595	4	7,720
	人件費	19,619	17,875	33,081
支出(千円)	物件費(委託料)	11,495	9,561	6,104
	維持補修費(修繕費)	533	306	673
	物件費(光熱水費)	5,637	7,550	5,305
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	37,284	35,292	45,163
行政コスト(B-A)		25,689	35,288	37,443
収支前年比		72.80	94.24	95.16
(参考)指定管理料		76,600	76,660	0
(参考)減価償却費		10,737	10,737	10,737
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	22,194	21,118	20,358
	開館日数/年	307	237	265
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	658,528	257,694	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2020	浜松市秋野不矩美術館屋根・外壁改修工事	4,048			
	2019	屋根・外壁点検改修工事	22,308			
	2019	空調改修工事	31,453			
	2016	自動火災報知設備更新工事	4,903			
	2015	監視カメラ設備更新工事	2,976			

近隣施設			
同分類	No	施設名	圏域種別
	04-030	ヤマタケの蔵	地域
	04-042	ものづくり伝承館	文化財
	04-047	二俣歴史散策路	小規模等
	04-025	内山真龍資料館	地域
	04-044	田代家住宅	文化財
その他の分類	03-058	二俣ふれあいセンター	生活
	08-082	二俣幼稚園	生活
	13-085	田組西団地	地域
	14-093	天竜第1分団横町	コミュニティ
	14-096	天竜第1分団諏訪町	コミュニティ
	15-096	二俣小学校	生活
	07-067	ふたまた児童クラブ	生活
	03-016	天竜壬生ホール	地域



基本情報	リストNo	04-012	施設コード	01172	所管課	本庁	市民部美術館			
	施設名	秋野不矩美術館			施設	市民部美術館				
	人員数	正規職員(人)	2	会計年度任用職員(人)	11	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		郷土の作家、秋野不矩の作品を収集、保管、調査研究を行い、研究成果を様々な展覧会を通して広く市民に紹介する。また、他地区の美術館や博物館との連携も深めながら、地域の文化、創造を発信する拠点としての機能も担っていく。								
		主な業務内容	秋野不矩作品の収集・保管・調査研究業務、展示業務、市民ギャラリーの管理業務							
		主な利用者	市民(児童・生徒含む)、観光客、行政視察者など							
		設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか				新東名高速道路の開通に伴い、他地区からのニーズが高まってきている。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測				地元の方のニーズと他地区からのニーズの比率が変化する可能性がある。					
	特記事項				芸術・文化の拠点施設として必要不可欠である。					
	主な事業	事業名・開催回数(2023)				年度	事業費(千円)	実施状況		
								のべ募集人員	参加者数	
		事業①	特別展開催事業 開催日数:120日 「アジアの神々展」加山又造と継承者たち「上村松篁/挿絵原画展」				2023	29,823	17,000	14,296
							2022	27,682	14,000	13,937
							2021	14,757	8,000	7,660
事業②		館蔵品展開催事業 開催日数:133日				2023	5,001	10,000	7,898	
						2022	4,512	8,000	7,181	
						2021	2,748	13,000	12,698	
事業③		—				2023	—	—	—	
						2022	—	—	—	
						2021	—	—	—	
事業④		—				2023	—	—	—	
	2022					—	—	—		
	2021					—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	築後20年以上が経過し、徐々に機器類の機能低下が懸念される状況にある。一定規模の修繕については指定管理者負担で行っているものの、大規模な改修や設備更新については長寿命化計画等の整備計画に基づく対応が必要。								
	対応策	長寿命化計画方針に基づく改修を実施するとともに、突発的な緊急修繕にも随時対応し、適切な施設の維持管理に努める。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
		複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—					
民生導入	令和4年度に指定管理者制度を導入済み。今後も指定管理による運営を継続していく。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	25,698	35,301	37,456	1人当たりのコスト(円)	1,157	1,671	1,839
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	83,678	148,895	141,294
	1日当たり利用者(人)	72	89	77	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
(縦軸) 利用状況、前年収支比等による評価	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。				利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	各用途別に応じ、1施設から2施設程度の配置を基本とします。利用状況など、将来的見通しを踏まえた上で、市域施設としての位置づけそのものを常に検討しつつ、民間への移管や、拠点的な施設として広域同様に、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、PFIなどの手法も検討しつつ、最適な管理運営と長寿化に取り組めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。 館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民生活導入	(1)維持管理	指定管理	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
	引き続き、指定管理者による運営を行う。							

リストNo		04-013	施設コード	00410	
利用用途別分類(施設分類)		文化・観光施設			
施設名		賀茂真淵記念館			
所在(町名・番地)		中央区東伊場一丁目22-2			
利用者の圏域別分類等		地域		非中山間地域	
財産区分		行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部文化財課		課長名	平田 隆
	施設	市民部文化財課		課長名	平田 隆
設置根拠(法)		—			
条例		浜松市立賀茂真淵記念館条例			
設置目的		浜松出身の国学者・賀茂真淵の業績および遠江の国学に関する知識を広め、文化の向上に資する。			
主な利用者		遠江の国学者や歴史に興味のある人、キッズアートプロジェクト参加者、県居小学校各学年や市内近郊小中学生			
運営形態		指定管理者			
指定管理または包括管理委託等の期間		2021/04/01 ～			
管理者名		(一社)浜松史蹟調査顕彰会			
開館時間		9:30 ～ 17:00			
建物情報	総延床面積	715.66	土地情報	土地面積	3,248.79
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	3,248.79
	地上階数(主要建物)	2			
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	1984/3/31			
	経過年数(主要建物)	40		代表地目(現況地目)	宅地
用途地域		第一種中高層住居専用地域			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		—	—	—	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	—	—	—	
特記事項	—				



項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	165	146	180
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	1,262	632	658
	収入計(A)	1,427	778	838
	人件費	14,034	14,194	14,178
支出(千円)	物件費(委託料)	1,835	1,668	1,668
	維持補修費(修繕費)	1,001	13	679
	物件費(光熱水費)	1,348	1,680	1,373
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	18,218	17,555	17,898
行政コスト(B-A)		16,791	16,777	17,060
収支前年比		100.08	98.34	102.09
(参考)指定管理料		21,780	21,780	21,780
(参考)減価償却費		7,793	7,793	7,793
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	6,063	5,474	5,862
	開館日数/年	304	302	302
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	111,187	77,930	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2023	自動火災報知設備等更新工事	10,780			
	2017	外壁改修工事	7,346			
	2017	屋根防水工事	7,817			
	2013	空調設備改修工事	14,846			
	2011	ハロゲン化物消火設備改修工事	2,520			
	2011	収蔵庫用空調設備改修工事	2,310			

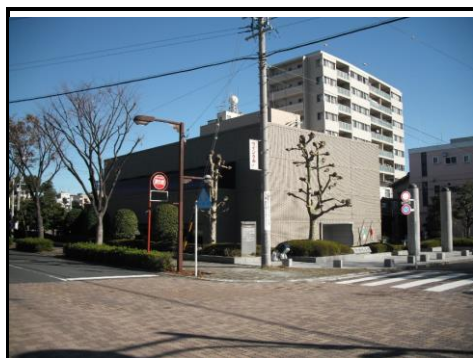
近隣施設			
同分類	No	施設名	圏域種別
	04-033	旧浜松銀行協会	文化財
	04-061	伊場遺跡	文化財
	04-014	浜松復興記念館	地域
	04-009	美術館	市域
	04-001	浜松城公園天守閣	広域
	04-015	茶室「松韻亭」	地域
	04-035	旧高山家	文化財
	04-034	蛸塚遺跡	文化財
	15-104	西部中学校	生活
その他の分類	03-028	県居協働センター	生活
	14-005	中消防署鴨江出張所・浜松第16分団	地域
	08-002	鴨江保育園	生活
	01-003	鴨江分庁舎	市域
	13-011	東伊場団地	地域
	09-002	口腔保健医療センター	市域
	09-001	保健所	市域



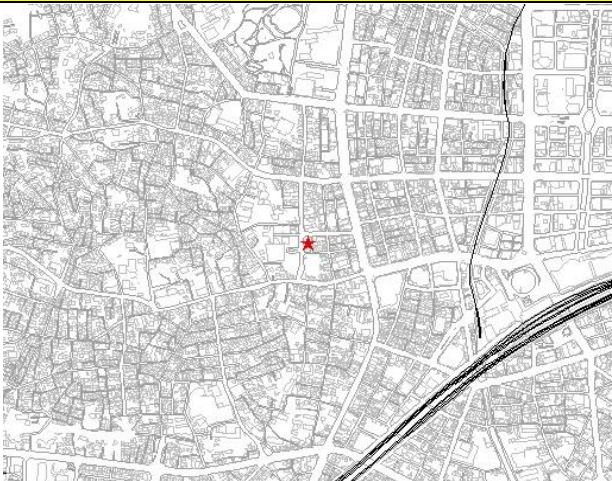
基本情報	リストNo	04-013	施設コード	00410	所管課	本庁	市民部文化財課			
	施設名	賀茂真淵記念館			施設	市民部文化財課				
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	地域の文化遺産の継承、地域の文化遺産の保全・活用								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		浜松出身の国学者・賀茂真淵の業績および遠江の国学に関する知識を広め、文化の向上に資する。								
		主な業務内容	賀茂真淵翁及び遠江の国学に関する資料収集、保管、展示及び調査研究業務、講座開催業務							
		主な利用者	遠江の国学者や歴史に興味のある人、キッズアートプロジェクト参加者、県居小学校各学年や市内近郊小中学生							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		開館時よりも高い水準の入館者数を維持しており、需要は確保されている。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		団塊世代の勉学意欲が旺盛で、今後も壮高年者を中心に入館が期待できる。							
	特記事項		魅力ある講座の企画により、記念館への関心、参加者の増加が期待できる。							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)				年度	事業費(千円)	実施状況		
								のべ募集人員	参加者数	
		事業①	特別展開催事業・開催期間:「賀茂真淵とその門流」～近世の歌文を中心として～ 令和5年9月28日～11月26日 ※参加者数欄には各年度の同事業参加者数の数値				2023	—	—	1,818
							2022	—	—	1,600
							2021	—	—	1,416
		事業②	記念館「指定事業講座」開催事業・開催日数:記念館アカデミー講座・18日間※参加者数欄には各年度の同事業参加者数の数値				2023	—	720	508
2022							—	720	581	
2021							—	720	585	
事業③		記念館「指定事業講座」開催事業・開催日数:冬期講座・4日間 ※参加者数欄には各年度の同事業参加者数の数値				2023	—	200	150	
						2022	—	200	201	
						2021	—	280	175	
事業④		—				2023	—	—	—	
	2022					—	—	—		
					2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	無料の入館者(小・中学生や70歳以上の高齢者)が多いため、有料入館者となる客層を取り込んでいくことが課題となっている。また、築40年が経過し、建物及び設備の経年劣化が見受けられる。								
	対応策	有料入館者である客層(高校生以上)を増やすため、若年層でも気軽に利用できる親しみやすい展示や講座を目指し、SNS等広報媒体を使った情報提供に力を入れていく。また、施設修繕や更新が必要である部分は、令和6年以降順次更新を図っていく。全館LED照明化を目指しているが、まだ、LED照明にしていない箇所があり、その部分については、令和6年度に実施する予定。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
		複合化	—	—	—	—				
		広域化	—	—	—	—				
民生導入	指定管理者制度による運営を継続するとともに、より効率的な運営が可能か検討していく。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	23,462	23,443	23,838	1人当たりのコスト(円)	2,769	3,065	2,910
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	55,234	55,553	56,490
	1日当たり利用者(人)	20	18	19	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)					供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
(縦軸) 利用状況、前年収支比率等による評価	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)				利用状況等による評価(横軸)			
	※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の 圏域毎の 方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別 分類毎の 方向性	これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。 館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
	当面、適切な維持管理に努める。							

リストNo		04-014		施設コード		02381	
利用用途別分類（施設分類）		文化・観光施設					
施設名		浜松復興記念館					
所在（町名・番地）		中央区利町304-2					
利用者の圏域別分類等		地域			非中山間地域		
財産区分		行政財産		公共用財産		その他施設	
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課			課長名		鈴木 三男
	施設	中央区・まちづくり推進課			課長名		宮崎 幹啓
設置根拠（法）		—					
条例		浜松復興記念館条例					
設置目的		西遠広域都市計画事業復興土地地区画整理事業の完了を記念して、戦災からの復興の記録と市民生活、文化及び町並みの変遷を後世に伝えるため（浜松復興記念館条例第1条）					
主な利用者		市民、その他					
運営形態		指定管理者					
指定管理または包括管理委託等の期間		2023/04/01 ～					
管理者名		復興記念館管理運営グループ					
開館時間		9:00 ～ 17:00					
建物情報	総延床面積	685.40		土地情報	土地面積	1,203.45	
	構造（主要建物）	鉄骨鉄筋コンクリート造			うち所有面積	1,203.45	
	地上階数（主要建物）	2					
	耐震性能（1st値）（主要建物）	新					
	耐震工事（主要建物）	—					
	建築年月日（主要建物）	1988/8/1					
	経過年数（主要建物）	35			うち借地面積	0.00	
				代表地目（現況地目）		宅地	
用途地域		商業地域					
区分		建設事業費（千円）		土地取得事業費（千円）		計	
設置事業費		321,300		—		321,300	
財源	国・県	—		—		—	
	寄付金	—		—		—	
	その他	—		—		—	
	市債	221,700		—		221,700	
	一般財源	99,600		—		99,600	
特記事項	—						



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	1,043	1,034	873
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	3	18	10
	収入計(A)	1,046	1,052	883
支出 (千円)	人件費	9,580	9,715	9,142
	物件費(委託料)	1,045	984	1,452
	維持補修費(修繕費)	1,688	270	1,870
	物件費(光熱水費)	1,165	1,094	1,250
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	13,478	12,063	13,714
行政コスト(B－A)		12,432	11,011	12,831
収支前年比		112.91	85.82	98.55
(参考) 指定管理料		13,098	13,427	13,519
(参考) 減価償却費		8,225	8,225	8,225
利用 状況	利用コマ数/年	64	965	800
	利用可能コマ数/年	1,313	14,986	15,652
	施設利用者数/年	9,975	9,734	9,543
	開館日数/年	301	289	301
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	132,848	123,380	—	

主 な 改 修 履 歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2019	浜松復興記念館空調設備改修工事	26,255			
	2018	外壁改修工事	7,541			
	2018	浜松復興記念館外壁及びトップライト改修工事	6,413			
近隣施設						
同 分 類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
	04-033	旧浜松銀行協会	文化財		0.2	
	04-001	浜松城公園天守閣	広域		0.6	
	04-009	美術館	市域		0.7	
	04-015	茶室「松韻亭」	地域		1.0	
	04-013	賀茂真淵記念館	地域		1.1	
	04-002	アクティビティ浜松Dゾーン(楽器博物館・研修交流センター)	広域		1.1	
	04-008	浜松科学館	市域		1.2	
	04-016	厚ヶ崖資料館	地域		1.6	
そ の 他 の 分 類	22-004	夜間救急室	市域		0.1	
	03-008	鴨江アートセンター	地域		0.3	
	19-002	ザザシティ駐車場	地域		0.3	
	14-029	浜松第1分団	コミュニティ		0.3	
	07-001	浜松こども館	市域		0.4	
	01-006	ザザシティ浜松中央館5階	市域		0.4	
	06-001	中央図書館	市域		0.4	
	15-004	西小学校	生活		0.5	
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	04-014	施設コード	02381	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課			
	施設名	浜松復興記念館			所管課	施設	中央区・まちづくり推進課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	芸術・文化の拠点の創造と発信								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		西遠広域都市計画事業復興土地区画整理事業の完了を記念して、戦災からの復興の記録と市民生活、文化及び町並みの変遷を後世に伝えるため(浜松復興記念館条例第1条)								
		主な業務内容	資料の収集・保存・研究業務、資料の展示紹介業務、貸し館業務							
		主な利用者	市民、その他							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか貸館については、特定団体の定期的な使用や新たな利用者の獲得など、一定のニーズを確保している。								
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測展示・貸館ともに減少が予想される。								
		特記事項—								
	主な事業		事業名・開催回数(2023)				年度	事業費(千円)	実施状況	
								のべ募集人員	参加者数	
事業①		—					2023	—	—	—
							2022	—	—	—
							2021	—	—	—
事業②		—					2023	—	—	—
							2022	—	—	—
							2021	—	—	—
事業③		—					2023	—	—	—
							2022	—	—	—
							2021	—	—	—
事業④		—					2023	—	—	—
							2022	—	—	—
					2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	十分な駐車スペースが確保できない。								
	対応策	2台ある駐車スペースは、原則的に2階会議室利用者を優先に使用を認めているが、会議室の予約が入っていないときは一般来場者にも使用を認めるなど、指定管理者による柔軟な対応がとられている。立地的に、新たな駐車スペースを確保するのは難しいが、近隣の民間駐車場と連携して、駐車料を割引するサービスを実施している。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
		複合化	—	—	—	—				
		広域化	—	—	—	—				
民生導入	施設利用者の利便性から、近隣の民間駐車場と連携し、駐車料の割引サービスを行っている。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	18,138	16,065	18,720	1人当たりのコスト(円)	1,246	1,131	1,345
	施設利用率(%)	4.9	6.4	5.1	1開館日当たりのコスト(円)	41,302	38,100	42,628
	1日当たり利用者(人)	33	34	32	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)					供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
縦軸 利用状況・前年収支比率等による評価	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)				利用状況等による評価(横軸)			
	※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の 圏域毎の 方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別 分類毎の 方向性	これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。 館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。						
個別方針	1資産の見直し	統廃合	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
	当面適切な維持管理に努める。大規模な改修等が必要となった時点で、施設の役割や利用状況を踏まえ、統廃合などを含めた施設のあり方を検討する。							

リストNo		04-015	施設コード	01852	
利用用途別分類(施設分類)		文化・観光施設			
施設名		茶室「松韻亭」			
所在(町名・番地)		中央区鹿谷町11-4			
利用者の圏域別分類等		地域		非中山間地域	
財産区分		行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課		課長名	鈴木 三男
	施設	市民部創造都市・文化振興課		課長名	鈴木 三男
設置根拠(法)		—			
条例		浜松市茶室条例			
設置目的		茶道文化の普及及び伝承を図り、市民文化の向上に寄与するため (浜松市茶室条例第1条)			
主な利用者		呈茶客、浜松茶道連盟、茶道稽古人等			
運営形態		指定管理者			
指定管理または 包括管理委託等の期間		2021/04/01 ～			
管理者名		遠鉄アシスト(株)			
開館時間		9:30 ～ 17:00			
建物情報	総延床面積	362.95	土地情報	土地面積	0.00
	構造(主要建物)	木造		うち所有面積	0.00
	地上階数(主要建物)	1			
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	—			
	建築年月日(主要建物)	1997/10/1			
	経過年数(主要建物)	26			
用途地域		第二種住居地域			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		—	—	—	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	—	—	—	
特記事項	—				



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	4,314	4,055	3,404
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	18	45	99
	収入計（A）	4,332	4,100	3,503
支出（千円）	人件費	10,755	10,320	9,731
	物件費（委託料）	1,169	1,163	1,115
	維持補修費（修繕費）	620	1,756	51
	物件費（光熱水費）	847	1,140	1,134
	物件費（借地料）	0	0	0
	支出計（B）	13,391	14,379	12,031
	行政コスト（B－A）	9,059	10,279	8,528
収支前年比		88.13	120.53	132.26
（参考）指定管理料		12,000	12,000	12,000
（参考）減価償却費		256	256	256
利用状況	利用コマ数／年	4,971	4,703	3,928
	利用可能コマ数／年	9,432	9,368	9,404
	施設利用者数／年	32,346	28,376	23,783
	開館日数／年	314	312	313
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数／年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物		その他
	0	2,828		—

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2019	浜松市茶室空調設備改修工事	11,447			
	2018	浜松市茶室塀改修工事	7,171			
	2013	月見台改修工事	3,570			
	2007	屋外トイレ新築工事	6,668			
近隣施設						
同分類	No	施設名			圏域種別	距離(km)
	04-009	美術館			市域	0.4
	04-001	浜松城公園天守閣			広域	0.4
	04-016	犀ヶ崖資料館			地域	0.7
	04-014	浜松復興記念館			地域	1.0
	04-033	旧浜松銀行協会			文化財	1.2
	04-002	アクトシティ浜松Dゾーン(楽器博物館・研修交流センター)			広域	1.6
	04-013	賀茂真淵記念館			地域	1.7
その他の分類	04-008	浜松科学館			市域	1.8
	07-073	中部学園放課後児童会			生活	0.1
	03-006	勤労会館(Uホール)			地域	0.2
	14-002	消防局・中消防署			市域	0.3
	15-100	浜松中部学園(中部小学校・中学校)			生活	0.3
	13-006	鹿谷(市立東)団地			地域	0.5
	01-001	本庁舎			市域	0.5
	01-002	元目分庁舎			市域	0.5
07-006	広沢子育て支援ひろば			生活	0.6	
施設周辺地図情報						

基本情報	リストNo	04-015	施設コード	01852	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課		
	施設名	茶室「松韻亭」			施設	市民部創造都市・文化振興課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	芸術・文化の拠点の創造と発信							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		茶道文化の普及及び伝承を図り、市民文化の向上に寄与するため(浜松市茶室条例第1条)							
		主な業務内容	呈茶サービス、茶室の貸し部屋業務、茶道をはじめとする日本伝統文化に関する講座						
		主な利用者	呈茶客、浜松茶道連盟、茶道稽古人等						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用者があり、需要は確保されている。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	利用者の高齢化により、ニーズは減少する可能性がある。							
	特記事項	茶道連盟会員数が減少するなど、茶道人口は減少傾向にある。							
	主な事業		事業名・開催回数(2023)			年度	事業費(千円)	実施状況	
								のべ募集人員	参加者数
		事業①	—			2023	—	—	—
						2022	—	—	—
						2021	—	—	—
		事業②	—			2023	—	—	—
					2022	—	—	—	
					2021	—	—	—	
事業③		—			2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
					2021	—	—	—	
事業④		—			2023	—	—	—	
				2022	—	—	—		
				2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	建物の老朽化が進んでおり、数寄屋建築という特殊な建築手法で建てられているため、修繕が必要な際に対応できる業者が限られ、早急な対応ができない場合がある。							
	対応策	計画的に修繕等を行うとともに緊急修繕にも対応していく。数寄屋建築という特殊な建築手法で建てられた施設のため、修繕に制限があるが、状態を確認しながら慎重に修繕等を行う。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
		複合化	—	—	—	—			
	広域化	—	—	—	—				
民生活導入	地元の茶道連盟の協力により講演会等の講師に浜松にゆかりのある方を迎えるなど民間活力を活用していく。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	24,959	28,321	23,496	1人当たりのコスト(円)	280	362	359
	施設利用率(%)	52.7	50.2	41.8	1開館日当たりのコスト(円)	28,850	32,946	27,246
	1日当たり利用者(人)	103	91	76	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)					供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
縦軸 利用状況・前年収支比率等による評価	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)				利用状況等による評価(横軸)			
	※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の 圏域毎の 方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別 分類毎の 方向性	これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。								

リストNo	04-016	施設コード	00926
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設		
施設名	犀ヶ崖資料館		
所在(町名・番地)	中央区鹿谷町25番10号		
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	産業部観光・シティプロモーション課	課長名 須藤 俊英
	施設	中央区・まちづくり推進課	課長名 宮崎 幹啓
設置根拠(法)	—		
条例	—		
設置目的	歴史と文化を広く紹介し、観光振興・文化振興を図る。		
主な利用者	市民及び観光客		
運営形態	施設包括管理委託		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	9:00 ～ 17:00		
建物情報	総延床面積	79.49	土地情報
	構造(主要建物)	木造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	-	
	建築年月日(主要建物)	2015/3/26	
	経過年数(主要建物)	9	
用途地域		第二種住居地域	
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
設置事業費	31,469,150	—	31,469,150
財源	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
	一般財源	31,469,150	31,469,150
特記事項	—		



項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	6	6	6
	収入計(A)	6	6	6
	人件費	0	0	0
支出(千円)	物件費(委託料)	0	0	938
	維持補修費(修繕費)	121	2,586	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	121	2,586	938
行政コスト(B-A)		115	2,580	932
収支前年比		4.46	276.82	65.45
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		928	928	928
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	28,309	14,533	7,549
	開館日数/年	300	299	266
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	121,318	13,739	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2014	改築工事	28,712			

近隣施設			
同分類	No	施設名	圏域種別
	04-015	茶室「松韻亭」	地域
	04-009	美術館	市域
	04-001	浜松城公園天守閣	広域
	04-035	旧高山家	文化財
	04-010	博物館	市域
	04-034	蛸塚遺跡	文化財
	04-014	浜松復興記念館	地域
	04-033	旧浜松銀行協会	文化財
	14-031	浜松第三分団	コミュニティ
その他の分類	15-006	追分小学校	生活
	13-006	鹿谷(市立東)団地	地域
	03-025	西部協働センター	生活
	15-146	市立高等学校	市域
	08-007	西保育園	生活
	03-078	城北会館	コミュニティ
	03-006	勤労会館(Uホール)	地域



基本情報	リストNo	04-016	施設コード	00926	所管課	本庁	産業部観光・シティプロモーション課		
	施設名	犀ヶ崖資料館			所管課	施設	中央区・まちづくり推進課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	観光・コンベンションの振興による地域経済の活性化							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		歴史と文化を広く紹介し、観光振興・文化振興を図る。							
		主な業務内容	徳川家康関連(主に三方ヶ原の戦い)の資料、遠州大念仏の資料の展示及び紹介						
		主な利用者	市民及び観光客						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	歴史愛好家や研究家等の根強い関心がある。						
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	歴史愛好家や研究家等の一定のニーズを保持している。						
		特記事項	平成26年度に大規模改修(建替え)を実施。						
	主な事業		事業名・開催回数(2023)			年度	事業費(千円)	実施状況	
								のべ募集人員	参加者数
		事業①	—		2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
					2021	—	—	—	
事業②		—		2023	—	—	—		
				2022	—	—	—		
				2021	—	—	—		
事業③		—		2023	—	—	—		
				2022	—	—	—		
				2021	—	—	—		
事業④		—		2023	—	—	—		
				2022	—	—	—		
			2021	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	平成26年度に建て替えを実施しており、施設に大きな問題はない。敷地内の地下には防火用水槽が埋設されており、水槽の強度が不明なため、建物前面への駐車は不可としている(消防と協議済み)。							
	対応策	敷地内に高低差があり、防火用水槽がないスペースへ大型バスを駐車できるようにするためには、大規模な造成工事が必要となる。現状は、大型バス等で敷地内に駐車できない場合は、近隣の交通量が少ない場所へバスを停車させ、乗降場所としている。							
	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
	廃止	—	—	—	—				
	民間移管	—	—	—	—				
	管理主体変更	—	—	—	—				
	代替サービス	—	—	—	—				
	統廃合	—	—	—	—				
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	引き続き管理運営委託により維持管理を実施していく。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	1,447	32,457	11,725	1人当たりのコスト(円)	4	178	123
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	383	8,629	3,504
	1日当たり利用者(人)	94	49	28	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)					供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
縦軸 利用状況・前年収支比率等による評価	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)				利用状況等による評価(横軸)			
	※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の 圏域毎の 方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別 分類毎の 方向性	これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。 館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
現在の運営状況を踏まえ、最適な管理運営方法について検討していく。								

リストNo		04-017	施設コード	01236	
利用用途別分類(施設分類)		文化・観光施設			
施設名		渚園			
所在(町名・番地)		中央区舞阪町弁天島5005-1			
利用者の圏域別分類等		地域		非中山間地域	
財産区分		行政財産	公共用財産	公園	
所管課	本庁	産業部観光・シティプロモーション課		課長名	須藤 俊英
	施設	中央区・西行政センター		課長名	渡辺 貴史
設置根拠(法)		—			
条例		浜松市弁天島海浜公園・渚園条例			
設置目的		市民の健康の増進及び観光の振興を図るため。			
主な利用者		キャンプ、運動施設、イベント利用者			
運営形態		指定管理者			
指定管理または 包括管理委託等の期間		2020/04/01 ～			
管理者名		東海ビル管理(株)			
開館時間		9:00 ～ 21:00			
建物 情報	総延床面積	675.77	土地 情報	土地面積	155,606.02
	構造(主要建物)	鉄骨造		うち所有面積	155,606.02
	地上階数(主要建物)	1			
	耐震性能(Is値)(主要建物)	0.81		うち借地面積	0.00
	耐震工事(主要建物)	—			
	建築年月日(主要建物)	1979/10/5			
	経過年数(主要建物)	44		代表地目(現況地目)	宅地
用途地域		商業地域			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費 (千円)	計	
設置事業費		117,500	—	117,500	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	117,500	—	117,500	
特記事項	—				



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	78,643	79,202	68,241
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	14,684	14,914	10,282
	収入計(A)	93,327	94,116	78,523
支出 (千円)	人件費	49,564	48,642	44,949
	物件費(委託料)	4,997	5,042	2,088
	維持補修費(修繕費)	2,874	13,322	2,568
	物件費(光熱水費)	4,960	4,276	4,499
	物件費(借地利料)	0	0	0
	支出計(B)	62,395	71,282	54,104
行政コスト(B－A)		-30,932	-22,834	-24,419
収支前年比		135.46	93.51	-674.74
(参考)指定管理料		2,000	2,000	2,000
(参考)減価償却費		1,919	1,925	1,639
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物		その他
	6,246,693	24,804		—

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2022	受変電設備改修工事	40,200	2013	テニスコートフェンス改修工事	7,615
2020	渚園ダッグアウト等改築工事	37,475	2010	野球場バックネット取替工事	14,907
2017	平成19年度 浜松市渚園下水道切替及び屋外便所新築工事(機械設備工事)	18,932			
2017	平成19年度 浜松市渚園下水道切替及び屋外便所新築工事(電気設備工事)	14,935			
2017	平成20年度 浜松市渚園下水道切替及び屋外便所新築工事(建築工事)	27,769			
2016	野球場バックスクリーン改修工事	7,162			

近隣施設				
No	施設名	圏域種別	距離(km)	
04-046	弁天島駅観光案内所	小規模等	0.9	
04-037	舞坂宿脇本陣	文化財	1.5	
その他の分類	10-022	舞阪高齢者福祉施設	コミュニティ	0.4
	26-016	観月園中継ポンプ場	—	0.5
	13-036	蓬莱園団地	地域	0.5
	08-015	舞阪第1保育園	生活	0.5
	10-009	ふれあい交流センター陽だまり	地域	0.7
	26-015	蓬莱園中継ポンプ場	—	0.7
	26-014	弁天島中継ポンプ場	—	1.0
	05-012	雄踏総合公園庭球場、水泳場	地域	1.1



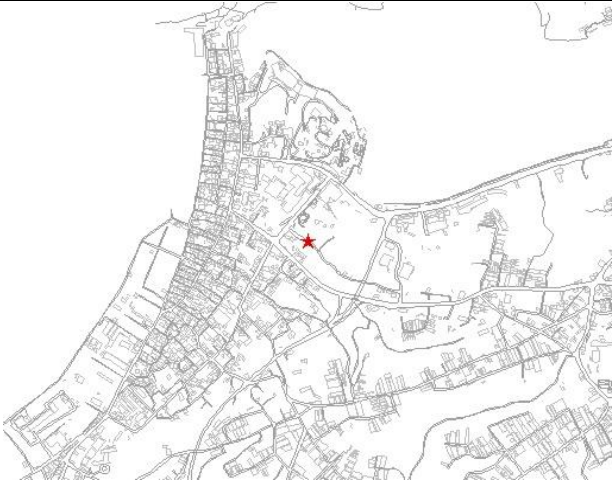
基本情報	リストNo	04-017	施設コード	01236	所管課	本庁	産業部観光・シティプロモーション課			
	施設名	渚園			施設	中央区・西行政センター				
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	観光・コンベンションの振興による地域経済の活性化								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		市民の健康の増進及び観光の振興を図るため。								
		主な業務内容	キャンプ場、野球場・テニスコート等の管理施設							
		主な利用者	キャンプ、運動施設、イベント利用者							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		ほとんどすべての施設について、増加傾向にある。						
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測		キャンプやイベント利用など、今後も高いニーズが見込まれる。						
	特記事項		—							
	主な事業		事業名・開催回数(2023)			年度	事業費(千円)	実施状況		
								のべ募集人員	参加者数	
		事業①	—				2023	—	—	—
							2022	—	—	—
							2021	—	—	—
		事業②	—				2023	—	—	—
				2022	—	—	—			
				2021	—	—	—			
事業③		—				2023	—	—	—	
						2022	—	—	—	
						2021	—	—	—	
事業④		—				2023	—	—	—	
				2022	—	—	—			
				2021	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	トイレやスポーツ施設など、経年劣化に伴う施設の老朽化が進んでいる。								
	対応策	指定管理制度導入施設であり、リスク分担に基づいて、計画的な修繕を行っていく。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
		複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—					
民活導入	指定管理による運営を実施していく。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	-45,773	-33,790	-36,135	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)					供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
(縦軸) 利用状況、前年収支比率等による評価	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)				利用状況等による評価(横軸)			
	※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
参考 公共施設等総合管理計画 (令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の 圏域毎の 方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別 分類毎の 方向性	これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。 館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
	指定管理による運営を継続する。老朽化が進む一部の施設については、利用状況等を踏まえた上で、維持修繕を実施する。							

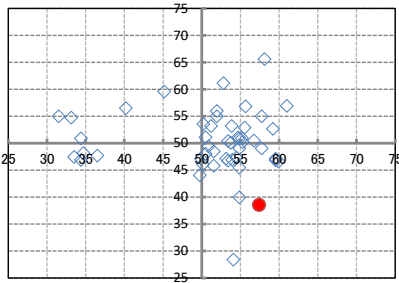
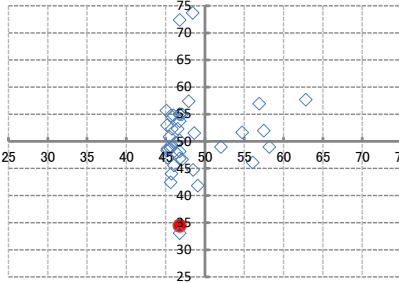
リストNo		04-019	施設コード		00460	
利用用途別分類(施設分類)		文化・観光施設				
施設名		館山寺ターミナル事務所				
所在(町名・番地)		中央区館山寺町1797-1				
利用者の圏域別分類等		地域		非中山間地域		
財産区分		行政財産	公共用財産		その他施設	
所管課	本庁	産業部観光・シティプロモーション課			課長名	須藤 俊英
	施設	中央区・西行政センター			課長名	渡辺 貴史
設置根拠(法)		—				
条例		—				
設置目的		館山寺地区の観光振興及び情報発信の拠点として運営するため				
主な利用者		観光客				
運営形態		直営				
指定管理または 包括管理委託等の期間		～				
管理者名		—				
開館時間		—				
建物情報	総延床面積	192.40		土地情報	土地面積	9,347.00
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造			うち所有面積	9,347.00
	地上階数(主要建物)	2				
	耐震性能(15値)(主要建物)	新				
	耐震工事(主要建物)	-			うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	2004/4/1				
	経過年数(主要建物)	20				
					代表地目(現況地目)	雑種地
用途地域		市街化調整区域				
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計
設置事業費		—		—		—
財源	国・県	—		—		—
	寄付金	—		—		—
	その他	—		—		—
	市債	—		—		—
	一般財源	—		—		—
特記事項	—					



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	514	390	401
	収入計(A)	514	390	401
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	1,158	518	515
	維持補修費(修繕費)	821	149	300
	物件費(光熱水費)	8	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	1,987	667	815
行政コスト(BーA)		1,473	277	414
収支前年比		531.77	66.91	8280.00
(参考) 指定管理料		0	0	0
(参考) 減価償却費		1,121	1,121	1,121
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	34,764	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)		
	04-045	館山寺門前広場・門前通り公共駐車場	小規模等	0.6		
	04-004	動物園	広域	1.3		
	04-005	フラワーパーク	広域	1.7		
その他の分類	07-038	庄内学園放課後児童会	生活	0.9		
	14-014	西消防署庄内出張所	地域	0.9		
	15-116	庄内学園(庄内小学校・中学校)	生活	1.0		
	18-064	旧北庄内小学校	地域	1.0		
	08-037	北庄内幼稚園	生活	1.0		
	03-041	庄内協働センター	生活	1.1		
	26-012	館山寺浄化センター	—	1.1		
	25-049	上下水道部西営業所		1.1		
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	04-019	施設コード	00460	所管課	本庁	産業部観光・シティプロモーション課		
	施設名	館山寺ターミナル事務所				施設	中央区・西行政センター		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	観光・コンベンションの振興による地域経済の活性化							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		館山寺地区の観光振興及び情報発信の拠点として運営するため							
		主な業務内容	レンタサイクルの需要は令和2年度から3年度にかけて大幅に減少したが、一定のニーズは保持している。						
		主な利用者	観光客						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		レンタサイクルの需要は少しずつではあるが増加傾向にある。					
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測		サイクリング利用は今後も堅調に推移すると見込まれる。					
	特記事項		—						
	主な事業		事業名・開催回数(2023)			年度	事業費(千円)	実施状況	
								のべ募集人員	参加者数
		事業①	—			2023	—	—	—
						2022	—	—	—
						2021	—	—	—
		事業②	—			2023	—	—	—
						2022	—	—	—
						2021	—	—	—
事業③		—			2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
					2021	—	—	—	
事業④		—			2023	—	—	—	
				2022	—	—	—		
				2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	施設の老朽化等大きな問題はない。							
	対応策	必要な修繕により維持管理していく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
		複合化	—	—	—	—			
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	民間活力導入の可能性について検討していく。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	7,656	1,440	2,152	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
縦軸 利用状況、前 年収支比率等 による評価	 建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)				 利用状況等による評価(横軸)			
	※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
参考 公共施設等 総合管理計画 (令和3年4月 改訂)より抜 粋	利用者の 圏域毎の 方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別 分類毎の 方向性	これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。 館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。						
個別方針	1資産の見直し	管理主体変更	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
	現在の管理運営を基本としながら、館山寺ターミナル事務所に隣接する公共駐車場との一体管理も含めた管理運営の可能性を検討していく。							

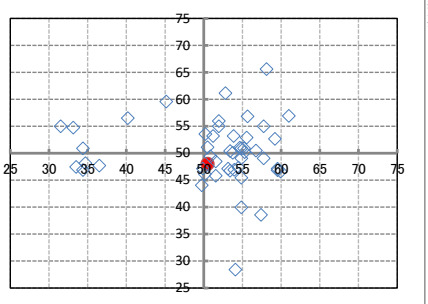
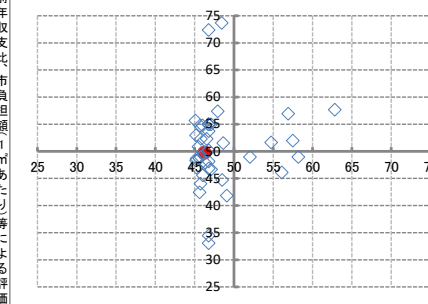
リストNo		04-020	施設コード	02329	
利用用途別分類(施設分類)		文化・観光施設			
施設名		浜松まつり会館			
所在(町名・番地)		中央区中田島町1313			
利用者の圏域別分類等		地域		非中山間地域	
財産区分		行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	産業部観光・シティプロモーション課		課長名	須藤 俊英
	施設	中央区・南行政センター		課長名	佐藤 一郎
設置根拠(法)		—			
条例		浜松まつり会館条例			
設置目的		「浜松まつり」に関する資料の収集、保管及び展示することにより、広く内外に宣伝・紹介し、観光の発展及び市民の文化の向上に寄与すること			
主な利用者		市民及び観光客			
運営形態		指定管理者			
指定管理または包括管理委託等の期間		2020/04/01 ～			
管理者名		遠鉄アシスト(株)			
開館時間		9:00 ～ 16:30			
建物情報	総延床面積	1,696.54	土地情報	土地面積	0.00
	構造(主要建物)	鉄骨鉄筋コンクリート造		うち所有面積	0.00
	地上階数(主要建物)	1			
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	1985/4/1			
	経過年数(主要建物)	39			
用途地域		第一種中高層住居専用地域			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		588,880	—	588,880	
財源	国・県	30,000	—	30,000	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	558,880	—	558,880	
特記事項	—				



項目	2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	2,398	1,903
	国県支出金	0	0
	その他収入	2,013	812
	収入計(A)	4,411	2,715
支出(千円)	人件費	10,558	10,431
	物件費(委託料)	5,640	5,143
	維持補修費(修繕費)	170	539
	物件費(光熱水費)	4,120	5,332
	物件費(借地料)	0	0
	支出計(B)	20,488	21,445
行政コスト(B-A)		16,077	18,730
収支前年比		85.84	109.85
(参考)指定管理料		15,851	15,840
(参考)減価償却費		13,248	13,248
利用状況	利用コマ数/年	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—
	施設利用者数/年	20,255	17,886
	開館日数/年	362	362
	施設定員数	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—
	蔵書数	—	—
	入居戸数	—	—
	全戸数	—	—
	クラス数	—	—
	生徒数	—	—
B S 情報	有形固定資産(千円)		
	土地	建物	その他
	0	158,976	—

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2023	外壁改修工事	43,109	2016	空調設備更新工事	1,134
2023	屋根防水工事	36,269	2010	防水改修工事	10,301
2020	吊り天井落下防止対策工事	19,800			
2020	受変電設備改修工事	12,023			
2019	令和元年度 浜松まつり会館空調設備更新工事	32,359			
2018	浜松まつり会館排煙窓取替改修工事	9,493			
近隣施設					
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)	
その他の分類	13-046	中田島団地	地域	0.2	
	26-038	中田島団地雨水ポンプ場	—	0.3	
	24-030	六軒川排水機場	—	0.4	
	17-005	遠州灘海浜公園	地域	0.6	
	24-027	中田島排水機場	—	0.9	
	01-016	南行政センター	地域	0.9	
	10-011	ふれあい交流センター江之島	地域	0.9	
	24-025	寺脇排水機場	—	1.0	
施設周辺地図情報					

基本情報	リストNo	04-020	施設コード	02329	所管課	本庁	産業部観光・シティプロモーション課		
	施設名	浜松まつり会館			施設	中央区・南行政センター			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	観光・コンベンションの振興による地域経済の活性化							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		「浜松まつり」に関する資料の収集、保管及び展示することにより、広く内外に宣伝・紹介し、観光の発展及び市民の文化の向上に寄与すること							
		主な業務内容	浜松まつりの紹介、資料の収集、保管及び展示						
		主な利用者	市民及び観光客						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	社会ニーズの変化に対応し、体験型施設として需要を維持している。						
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	観光交流人数や訪日客の増加、子育て世代等、新たなニーズの拡大が見込まれる。						
		特記事項	展示内容のマンネリ化、老朽化が進んでいるため、刷新が必要。						
	主な事業		事業名・開催回数(2023)	年度	事業費(千円)	実施状況			
						のべ募集人員	参加者数		
		事業①	—	2023	—	—	—		
				2022	—	—	—		
				2021	—	—	—		
		事業②	—	2023	—	—	—		
2022				—	—	—			
2021				—	—	—			
事業③		—	2023	—	—	—			
			2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
事業④		—	2023	—	—	—			
	2022		—	—	—				
	2021		—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	老朽化により設備に不具合が生じているため、大規模修繕を含め対応が必要である。							
	対応策	施設の維持継続に必要な修繕を優先的に実施していく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	引き続き、指定管理による運営を実施していく。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	9,476	11,040	10,050	1人当たりのコスト(円)	794	1,047	1,435
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	44,412	51,740	53,281
	1日当たり利用者(人)	56	49	37	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価								
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)				利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。						
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
	現在の運営状況等を踏まえ、当面の間は、現行の指定管理による運営を継続する。							

リストNo		04-021	施設コード	02320	
利用用途別分類(施設分類)		文化・観光施設			
施設名		姫街道と銅鐸の歴史民俗資料館			
所在(町名・番地)		浜名区細江町気賀1015-1			
利用者の圏域別分類等		地域		非中山間地域	
財産区分		行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部博物館		課長名	鈴木 一有
	施設	浜名区・北行政センター		課長名	堤 信弘
設置根拠(法)		—			
条例		浜松市博物館条例			
設置目的		教育、学術及び文化の発展に寄与するため設置(浜松市博物館条例第1条) 浜名湖の漁労、蘭草栽培、姫街道、銅鐸等の歴史文化資産を保管・展示する施設			
主な利用者		一般市民・観光客・歴史愛好家ほか			
運営形態		直営			
指定管理または 包括管理委託等の期間		～			
管理者名		—			
開館時間		9:00 ～ 17:00			
建物情報	総延床面積	624.00	土地情報	土地面積	1,141.88
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	746.88
	地上階数(主要建物)	2			
	耐震性能(Is値)(主要建物)	1.38		うち借地面積	395.00
	耐震工事(主要建物)	—			
	建築年月日(主要建物)	1980/3/20			
	経過年数(主要建物)	44		代表地目(現況地目)	宅地
用途地域		第二種中高層住居専用地域			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		100,709	—	100,709	
財源	国・県	10,000	—	10,000	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	90,709	—	90,709	
特記事項	—				



項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	20	23	59
	収入計(A)	20	23	59
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	552	534	534
	維持補修費(修繕費)	715	0	0
	物件費(光熱水費)	989	1,034	935
	物件費(借地利)	171	180	189
	支出計(B)	2,427	1,748	1,658
行政コスト(B-A)		2,407	1,725	1,599
収支前年比		139.54	107.88	66.10
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		2,886	2,886	2,886
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	3,555	3,981	4,177
	開館日数/年	301	297	298
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	19,450	17,318	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2015	外壁改修工事	4,669			

近隣施設				
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)
	04-007	国民宿舎奥浜名湖	広域	0.1
	04-024	気賀関所	地域	0.5
	04-023	奥浜名湖田園空間博物館総合案内所	地域	0.6
その他の分類	15-067	気賀小学校	生活	0.2
	03-012	みをつくし文化センター	地域	0.4
	14-067	細江中央分団	コミュニティ	0.5
	06-015	細江図書館	地域	0.5
	01-017	北行政センター	地域	0.5
	09-006	細江健康センター	地域	0.5
	08-053	中央幼稚園	生活	0.5
	10-014	細江介護予防センター	地域	0.5



基本情報	リストNo	04-021	施設コード	02320	所管課	本庁	市民部博物館		
	施設名	姫街道と銅鐸の歴史民俗資料館				施設	浜名区・北行政センター		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実、地域の文化遺産の継承、地域の文化遺産の保全・活用							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		教育、学術及び文化の発展に寄与するため設置(浜松市博物館条例第1条) 浜名湖の漁労、蘭草栽培、姫街道、銅鐸等の歴史文化資産を保管・展示する施設							
		主な業務内容	考古・民俗・歴史・自然等に関する博物館資料の収集・保管・展示、施設管理						
		主な利用者	一般市民・観光客・歴史愛好家ほか						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	平成23年度の入館料の無料化後、一定の需要は確保されている。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	歴史等のブームや大河ドラマが放映された影響により、今後も一定のニーズが続くと予想される。							
	特記事項	地域の貴重な遺産を保護・活用し、後世に継承していくために重要な施設と考えられる。							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)				年度	事業費(千円)	実施状況	
		事業①	常設展示	2023	—	—	3,555		
				2022	—	—	3,981		
				2021	—	—	4,177		
		事業②	巡回展の開催	2023	—	—	2,798		
				2022	—	—	2,696		
				2021	—	—	2,993		
		事業③	—	2023	—	—	—		
2022				—	—	—			
2021				—	—	—			
事業④		—	2023	—	—	—			
			2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
課題	建築後40年以上が経過し、建物の老朽化が随所に見られるようになってきた。小規模な修繕は行ってきたが、屋根の防水シートや消防設備更新など、今後大規模な修繕を必要とする箇所がある。またエレベーターやトイレ等ユニバーサルデザインに対応していない設備がある。								
対応策	来館者の安全面を考え、不具合な箇所を随時的に修繕していく。経年劣化による施設の不具合については、重要性、危険度合等を考慮し、計画的に修繕を行っていく。								
施設所管課・本庁所管課記入欄	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
		複合化	—	—	—	—			
		広域化	—	—	—	—			
民生導入	重要な地域遺産の保存は、市が適切に管理する必要がある。活用の面においても展示は、市がおこなうことが望ましいと思われるが、企画については民間活力を導入する余地はある。(資料館における体験型の企画等)								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	3,857	2,764	2,563	1人当たりのコスト(円)	677	433	383
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	7,997	5,808	5,366
	1日当たり利用者(人)	12	13	14	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)					供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
(縦軸) 利用状況、前年収支比率等による評価								
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)				利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考 公共施設等総合管理計画（令和3年4月改訂）より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。 館山寺総合公園（フラワーパーク・動物園）については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。						
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
	他施設との複合化について、地元意見などを踏まえて慎重に検討する。							

リストNo		04-022	施設コード	00124	
利用用途別分類(施設分類)		文化・観光施設			
施設名		みかんの里資料館			
所在(町名・番地)		浜名区三ヶ日町福長70-20			
利用者の圏域別分類等		地域		非中山間地域	
財産区分		行政財産		公共用財産	
				その他施設	
所管課	本庁	産業部農地整備課			課長名
	施設	産業部農地整備課			課長名
					黒柳 健
					黒柳 健
設置根拠(法)		—			
条例		—			
設置目的		奥浜名湖地区の農村文化及び観光資源の情報提供並びに地域の活性化を図る。(みかん栽培の歴史等を通じて)			
主な利用者		主に地域住民(子供～大人)			
運営形態		直営			
指定管理または 包括管理委託等の期間		～			
管理者名		—			
開館時間		9:00 ～ 16:30			
建物 情報	総延床面積	256.14	土 地 情 報	土地面積	1,017.92
	構造(主要建物)	木造		うち所有面積	1,017.92
	地上階数(主要建物)	1			
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	—			
	建築年月日(主要建物)	2006/3/20			
	経過年数(主要建物)	18		うち借地面積	0.00
		代表地目(現況地目)		宅地	
用途地域		市街化調整区域			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		—	—	—	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	—	—	—	
特記事項	—				



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	20	21	21
	収入計（A）	20	21	21
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費（委託料）	258	243	238
	維持補修費（修繕費）	792	784	645
	物件費（光熱水費）	237	271	228
	物件費（借地料）	0	0	0
	支出計（B）	1,287	1,298	1,111
行政コスト（B－A）		1,267	1,277	1,090
収支前年比		99.22	117.16	142.48
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		0	760	801
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	4,380	3,914	4,151
	開館日数/年	309	308	308
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	46,197	0	—	

主な 改修 履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同 分 類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
そ の 他 の 分 類	14-083	三ヶ日第2分団	コミュニティ		0.6	
	13-059	摩訶耶団地	地域		1.3	
	05-019	三ヶ日弓道場	地域		1.6	
	15-068	三ヶ日西小学校	生活		1.8	
	15-065	平山小学校	生活		1.9	
	08-061	平山幼稚園	生活		1.9	
	13-057	大苗代団地	地域		1.9	
	21-003	三ヶ日斎場	地域		1.9	
施設周辺地図情報						

基本情報	リストNo	04-022	施設コード	00124	所管課	本庁	産業部農地整備課		
	施設名	みかんの里資料館			施設	産業部農地整備課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	生産基盤の安定による農業経営							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		奥浜名湖地区の農村文化及び観光資源の情報提供並びに地域の活性化を図る。(みかん栽培の歴史等を通じて)							
		主な業務内容	みかん等農産物栽培に係る農具等の展示						
		主な利用者	主に地域住民(子供～大人)						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用者があり、需要は確保されている。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	みかん栽培に係る農具は地域の産業的遺産であり、保存、展示する資料館の役割は益々高まると思われる。							
	特記事項	—							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)	年度	事業費(千円)	実施状況				
					のべ募集人員	参加者数			
		事業① 資料館の運営	2023	3,873	—	4,380			
			2022	3,801	—	3,914			
			2021	3,574	—	4,150			
		事業② —	2023	—	—	—			
			2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
事業③ —		2023	—	—	—				
		2022	—	—	—				
		2021	—	—	—				
事業④ —		2023	—	—	—				
	2022	—	—	—					
	2021	—	—	—					
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	ミケ日みかんの歴史に関する学習の場として、更なる利用者数の増加に向けた新たな取り組みが必要である。							
	対応策	展示物の更新及びみかんに関する講座等の実施にあたっては、農協、地元自治会・農家等と協議を行う。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
		複合化	—	—	—	—			
		広域化	—	—	—	—			
民生導入	みかん栽培に精通した本地域の団体等への管理委託の可能性の検討。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	4,947	4,986	4,255	1人当たりのコスト(円)	289	326	263
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	4,100	4,146	3,539
	1日当たり利用者(人)	14	13	13	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)					
(縦軸) 利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸) 前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			

参考
公共施設の
総合管理計画
(令和3年4月改訂)より抜粋

利用者の
圏域毎の
方向性

利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。

利用用途別
分類毎の
方向性

これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。
館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。

個別方針	1資産の見直し	統廃合	複合化	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—

現在の運営状況を踏まえ、民間から幅広い意見を聴く中で、コンテンツの見直しなど魅力の向上を図るとともに、他施設との複合化、統廃合を検討する。

リストNo		04-023	施設コード	00333	
利用用途別分類(施設分類)		文化・観光施設			
施設名		奥浜名湖田園空間博物館総合案内所			
所在(町名・番地)		浜名区細江町気賀4583			
利用者の圏域別分類等		地域		非中山間地域	
財産区分		行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	産業部農地整備課		課長名	黒柳 健
	施設	産業部農地整備課		課長名	黒柳 健
設置根拠(法)		—			
条例		浜松市奥浜名湖田園空間博物館総合案内所条例			
設置目的		奥浜名湖地区の農村文化及び観光資源の総合的な情報提供並びに地域の活性化を図る。			
主な利用者		主に大人			
運営形態		指定管理者			
指定管理または 包括管理委託等の期間		2020/04/01 ～			
管理者名		(株)ヤタロー			
開館時間		8:30 ～ 17:00			
建物情報	総延床面積	573.64	土地情報	土地面積	4,821.00
	構造(主要建物)	鉄骨造		うち所有面積	4,821.00
	地上階数(主要建物)	1			
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	—			
	建築年月日(主要建物)	2003/3/25			
	経過年数(主要建物)	21		うち借地面積	0.00
		代表地目(現況地目)		宅地	
用途地域		市街化調整区域			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		132,850	—	132,850	
財源	国・県	95,850	—	95,850	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	37,000	—	37,000	
特記事項	—				



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	735	36	37
	収入計（A）	735	36	37
支出（千円）	人件費	5,130	4,751	4,097
	物件費（委託料）	2,084	1,356	1,557
	維持補修費（修繕費）	656	20	264
	物件費（光熱水費）	1,238	1,525	1,078
	物件費（借地料）	0	0	0
	支出計（B）	9,108	7,652	6,996
行政コスト（B－A）		8,373	7,616	6,959
収支前年比		109.94	109.44	48.12
（参考）指定管理料		5,400	8,100	5,426
（参考）減価償却費		3,969	3,969	3,969
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	83,871	76,386	67,630
	開館日数/年	361	360	317
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
BS情報	有形固定資産（千円）			
	土地	建物	その他	
	125,387	32,256	—	

年度		内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
主な 改修 履歴						
近隣施設						
同 分 類	No	施設名	圏域種別	距離(km)		
	04-024	気賀関所	地域	0.1		
	04-007	国民宿舎奥浜名湖	広域	0.6		
	04-021	姫街道と銅鐸の歴史民俗資料館	地域	0.6		
そ の 他 の 分 類	10-014	細江介護予防センター	地域	0.1		
	06-015	細江図書館	地域	0.1		
	01-017	北行政センター	地域	0.2		
	09-006	細江健康センター	地域	0.2		
	03-012	みをつくし文化センター	地域	0.2		
	15-129	細江中学校	生活	0.2		
	08-053	中央幼稚園	生活	0.3		
	26-021	山後雨水ポンプ場	—	0.6		
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	04-023	施設コード	00333	所管課	本庁	産業部農地整備課		
	施設名	奥浜名湖田園空間博物館総合案内所				施設	産業部農地整備課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	生産基盤の安定による農業経営							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		奥浜名湖地区の農村文化及び観光資源の総合的な情報提供並びに地域の活性化を図る。							
		主な業務内容	案内所の管理及び旬彩市等の運営						
		主な利用者	主に大人						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか 年々利用者が増加している							
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測 地域の農家を含めた住民の成果を披露できる場であり、今後も役割は益々高まると思われる。							
		特記事項 —							
	主な事業		事業名・開催回数(2023)			年度	事業費(千円)	実施状況	
								のべ募集人員	参加者数
		事業①	総合案内所の管理・運営			2023	5,996	—	83,871
						2022	8,100	—	76,386
						2021	5,400	—	67,630
事業②		—			2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
					2021	—	—	—	
事業③		—			2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
					2021	—	—	—	
事業④		—			2023	—	—	—	
	2022				—	—	—		
	2021				—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	隣接する気質関所との一体管理に伴い、両施設において地域住民や観光客を取り入れたり、他施設と連携した事業を展開し、更なる利用者の拡大や地域貢献を目指した運営を行う。また、好評を博している旬彩市においては、今後も地域農業者の生産物の展示・販売の舞台として質的向上を期待。							
	対応策	地域住民、農業者、各種団体等との調整が必要である。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
		複合化	—	—	—	—			
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	—								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	14,596	13,277	12,131	1人当たりのコスト(円)	100	100	103
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	23,194	21,156	21,953
	1日当たり利用者(人)	232	212	213	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)

建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)

供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)

利用状況等による評価(横軸)

※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

利用者の圏域毎の方向性

利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。

利用用途別分類毎の方向性

これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。

館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。

個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—

当面適切な維持管理に努める。大規模な改修等が必要となった時点で、利用状況を踏まえ複合化も検討する。

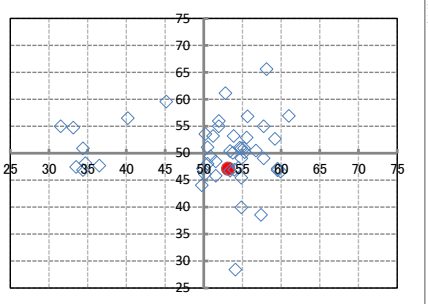
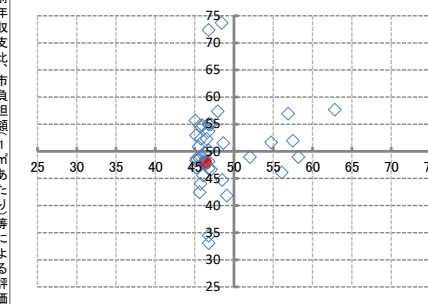
リストNo		04-024		施設コード		00479	
利用用途別分類（施設分類）		文化・観光施設					
施設名		気賀関所					
所在（町名・番地）		浜名区細江町気賀4577					
利用者の圏域別分類等		地域			非中山間地域		
財産区分		行政財産		公共用財産		その他施設	
所管課	本庁	産業部観光・シティプロモーション課			課長名		須藤 俊英
	施設	浜名区・北行政センター			課長名		堤 信弘
設置根拠（法）		—					
条例		浜松市気賀関所条例					
設置目的		復元した関所を公開し、気賀関所に関する資料の保存と活用を図り、もって郷土文化の発展及び観光の振興に資する。					
主な利用者		観光客、浜松市民					
運営形態		指定管理者					
指定管理または包括管理委託等の期間		2020/04/01 ～					
管理者名		（株）ヤタロー					
開館時間		9:00 ～ 16:30					
建物情報	総延床面積	342.25		土地情報	土地面積	0.00	
	構造（主要建物）	木造			うち所有面積	0.00	
	地上階数（主要建物）	1					
	耐震性能（1g値）（主要建物）	新					
	耐震工事（主要建物）	—					
	建築年月日（主要建物）	1990/3/20					
	経過年数（主要建物）	34			うち借地面積	0.00	
				代表地目（現況地目）			
用途地域		市街化調整区域					
区分		建設事業費（千円）		土地取得事業費（千円）		計	
設置事業費		90,723		—		90,723	
財源	国・県	—		—		—	
	寄付金	—		—		—	
	その他	—		—		—	
	市債	—		—		—	
	一般財源	90,723		—		90,723	
特記事項	R5.8.15台風接近のため休所 R5.12.30～R6.1.3まで施設メンテナンス等のため休所						



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	985	922	728
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	122	1,116	23
	収入計（A）	1,107	2,038	751
支出（千円）	人件費	4,401	3,768	4,280
	物件費（委託料）	535	659	422
	維持補修費（修繕費）	80	1,295	2,070
	物件費（光熱水費）	436	564	444
	物件費（借地料）	0	0	0
	支出計（B）	5,452	6,286	7,216
行政コスト（B－A）		4,345	4,248	6,465
収支前年比		102.28	65.71	69.26
（参考）指定管理料		4,769	4,769	4,769
（参考）減価償却費		1,280	1,280	1,280
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	10,669	9,863	7,807
	開館日数/年	360	360	321
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	8,842	—	

年度		内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
主な改修履歴						
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)		
	04-023	奥浜名湖田園空間博物館総合案内所	地域	0.1		
	04-007	国民宿舎奥浜名湖	広域	0.5		
	04-021	姫街道と銅鐸の歴史民俗資料館	地域	0.5		
その他の分類	06-015	細江図書館	地域	0.0		
	10-014	細江介護予防センター	地域	0.1		
	09-006	細江健康センター	地域	0.1		
	01-017	北行政センター	地域	0.1		
	03-012	みをつくし文化センター	地域	0.1		
	08-053	中央幼稚園	生活	0.2		
	15-129	細江中学校	生活	0.3		
	14-067	細江中央分団	コミュニティ	0.6		
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	04-024	施設コード	00479	所管課	本庁	産業部観光・シティプロモーション課		
	施設名	気賀関所			所管課	施設	浜名区・北行政センター		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	観光・コンベンションの振興による地域経済の活性化							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		復元した関所を公開し、気賀関所に関する資料の保存と活用を図り、もって郷土文化の発展及び観光の振興に資する。							
		主な業務内容	関所の保存及び公開に関する業務、関所に関する資料の収集、保管及び展示に関すること等						
		主な利用者	観光客、浜松市民						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用者があり、需要は確保されている。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	郷土文化の発展及び観光振興施設として一定の需要は見込まれる。							
	特記事項	—							
	主な事業		事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況		
							のべ募集人員	参加者数	
			事業①	—		2023	—	—	—
				—		2022	—	—	—
				—		2021	—	—	—
			事業②	—		2023	—	—	—
—				2022	—	—	—		
—				2021	—	—	—		
事業③			—		2023	—	—	—	
			—		2022	—	—	—	
			—		2021	—	—	—	
事業④			—		2023	—	—	—	
	—		2022	—	—	—			
	—		2021	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	平成2年創設から30年以上を経過し、経年劣化による施設設備の損傷・故障等が発生している。指定管理者制度導入施設であり、リスク分担に基づいて、一定規模の修繕については、指定管理者において実施しているものの、大規模な改修等は市で実施する必要がある。							
	対応策	優先度を設定し修繕計画を立て、計画的に修繕を行うとともに、突発的な緊急修繕には事後保全により対応していく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	平成27年度より隣接した「奥浜名湖田園空間博物館総合案内所」との一体管理を導入している。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	12,695	12,412	18,890	1人当たりのコスト(円)	407	431	828
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	12,069	11,800	20,140
	1日当たり利用者(人)	30	27	24	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価								
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)				利用状況等による評価(横軸)			
参考	公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性 利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。						
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。						
	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
現在の運営状況等を踏まえ、当面の間は、現行の指定管理による運営を継続する。								

リストNo		04-025	施設コード	02118	
利用用途別分類(施設分類)		文化・観光施設			
施設名		内山真龍資料館			
所在(町名・番地)		天竜区大谷568			
利用者の圏域別分類等		地域		中山間地域	
財産区分		行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部文化財課		課長名	平田 隆
	施設	天竜区・まちづくり推進課		課長名	佐々木 豊
設置根拠(法)		—			
条例		浜松市立内山真龍資料館条例			
設置目的		内山真龍の業績及び遠江の国学に関する知識を広め、文化の向上に資するため設置(浜松市立内山真龍資料館条例第1条)			
主な利用者		一般市民			
運営形態		直営			
指定管理または 包括管理委託等の期間		～			
管理者名		—			
開館時間		9:00 ～ 17:00			
建物情報	総延床面積	468.06	土地情報	土地面積	4,489.31
	構造(主要建物)	木造		うち所有面積	901.00
	地上階数(主要建物)	1			
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積	3,588.31
	建築年月日(主要建物)	1996/3/19			
	経過年数(主要建物)	28		代表地目(現況地目)	雑種地
用途地域		第二種中高層住居専用地域			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		—	—	—	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	—	—	—	
特記事項	—				



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	51	80	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	14	20	55
	収入計（A）	65	100	55
支出（千円）	人件費	6,400	6,400	6,400
	物件費（委託料）	1,842	1,770	1,525
	維持補修費（修繕費）	415	160	658
	物件費（光熱水費）	1,316	1,836	1,268
	物件費（借地料）	1,048	1,048	1,048
	支出計（B）	11,021	11,214	10,899
	行政コスト（B－A）	10,956	11,114	10,844
収支前年比		98.58	102.49	100.48
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		1,188	1,188	1,188
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	806	830	848
	開館日数/年	211	212	216
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産（千円）			
	土地	建物	その他	
	30	10,738	—	

主な 改修 履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2019	浜松市立内山真龍資料館収蔵庫空調機更新工事	7,764			

近隣施設				
同 分 類	No	施設名	圏域種別	距離(km)
	04-030	ヤマタケの蔵	地域	1.1
	04-042	ものづくり伝承館	文化財	1.2
	04-047	二俣歴史散策路	小規模等	1.3
	04-012	秋野不矩美術館	市域	1.4

そ の 他 の 分 類	13-083	大谷団地	地域	0.4
	01-022	天竜区役所	地域	0.5
	18-010	天竜防災センター	地域	0.5
	14-025	天竜消防署	地域	0.5
	05-025	天竜体育館	地域	0.5
	05-030	天竜武道館	地域	0.5
	09-010	天竜保健福祉センター	地域	0.6
	01-024	天竜区役所南館	地域	0.6

施設周辺地図情報	

基本情報	リストNo	04-025	施設コード	02118	所管課	本庁	市民部文化財課		
	施設名	内山真龍資料館			施設	天竜区・まちづくり推進課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	1	再任用(人)	1		
	複合施設	長屋門(市指定有形文化財)・天竜の家ふれあい館							
施設運営分析	関連政策名	地域の文化遺産の保全・活用							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		内山真龍の業績及び遠江の国学に関する知識を広め、文化の向上に資するため設置(浜松市立内山真龍資料館条例第1条)							
		主な業務内容	内山真龍及び遠江の国学に関する資料の他、天竜地域の歴史及び文化財に関する資料の保管・展示・調査等						
		主な利用者	一般市民						
		設置目的の継続性・妥当性							
			設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の入館者がある。					
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	今後も一定の入館者が見込まれる。						
		特記事項	—						
	主な事業		事業名・開催回数(2023)			年度	事業費(千円)	実施状況	
		事業①	常設展Ⅰ「内山真龍の旅」R5.3.25～R5.6.4／常設展Ⅱ「天竜の文化財～神社・寺院～」R5.6.23～R5.9.17／常設展Ⅲ「天竜の文化財～内山真龍の書物・書画～」R5.12.15～R6.3.3／特別展「戦国末期の北遠と松平信康の生涯」R5.10.4～R5.12.3			2023	140	—	通年806人
						2022	150	—	通年830人
						2021	—	—	通年848人
		事業②	—			2023	—	—	—
						2022	—	—	—
2021						—	—	—	
事業③		—			2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
					2021	—	—	—	
事業④		—			2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
	2021				—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	平成8年に建設されたため、設備の経年劣化により、修繕を必要とする箇所が多数ある。令和3年度の空調設備保守点検では、管理棟の展示室、学習室の空調設備について、ユニットの経年劣化が進んでいるので設備の更新を検討するよう業者より指摘されている。							
	対応策	令和元年度に収蔵庫空調機更新工事、令和6年度に展示室空調機更新工事を実施済。今後も、管理棟について大幅な改修が必要である。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
		複合化	—	—	—	—			
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	—								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	23,407	23,745	23,168	1人当たりのコスト(円)	13,593	13,390	12,788
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	51,924	52,425	50,204
	1日当たり利用者(人)	4	4	4	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)

縦軸
前年収支比、前年収支比等による評価

建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)

供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)

縦軸
前年収支比、市負担額1㎡あたり等による評価

利用状況等による評価(横軸)

※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

参考

利用者の圏域毎の方向性

利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。

利用用途別分類毎の方向性

これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。

館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。

個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—
	当面適切な維持管理に努める。						

リストNo	04-026		施設コード	01224	
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設				
施設名	春野歴史民俗資料館				
所在(町名・番地)	天竜区春野町宮川1327-1				
利用者の圏域別分類等	地域		中山間地域		
財産区分	行政財産		公共用財産		その他施設
所管課	本庁	市民部博物館		課長名	鈴木 一有
	施設	天竜区・春野支所		課長名	尾畑 佳志
設置根拠(法)		—			
条例		浜松市博物館条例			
設置目的		教育、学術及び文化の発展に寄与するため設置(浜松市博物館条例第1条)大居城、秋葉山、王子製紙等の考古・民俗・歴史・自然等に関する博物館資料の収集・保管・展示			
主な利用者		一般市民、観光客、歴史愛好家ほか			
運営形態		直営			
指定管理または包括管理委託等の期間		～			
管理者名		—			
開館時間		9:00 ～ 17:30			
建物情報	総延床面積	472.30	土地情報	土地面積	10,133.60
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	10,133.60
	地上階数(主要建物)	2			
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	1994/2/28			
	経過年数(主要建物)	30		代表地目(現況地目)	宅地
用途地域		都市計画区域外			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		—	—	—	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	—	—	—	
特記事項	—				



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	819	950	939
	維持補修費(修繕費)	1,609	44	0
	物件費(光熱水費)	671	658	621
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	3,099	1,652	1,560
行政コスト(B-A)		3,099	1,652	1,560
収支前年比		187.59	105.90	118.72
(参考) 指定管理料		0	0	0
(参考) 減価償却費		3,516	3,516	3,516
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	702	1,190	1,129
	開館日数/年	281	287	287
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	66,741	70,329	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2020	郷土資料館屋根改修工事	4,464			
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
	04-029	白井鐵造記念館	地域		1.3	
	04-054	天狗下駄展示場	小規模等		1.3	
その他の分類	06-017	春野図書館	地域		0.0	
	10-019	春野福祉センター	地域		0.0	
	01-025	春野支所	地域		0.3	
	14-026	天竜消防署春野出張所・防災センター	地域		0.3	
	14-126	春野第3分団宮川	コミュニティ		0.4	
	21-007	春野斎場	地域		0.6	
	26-022	気田浄化センター	—		0.8	
	03-017	春野文化センター	地域		1.3	
施設周辺地図情報						

基本情報	リストNo	04-026	施設コード	01224	所管課	本庁	市民部博物館
	施設名	春野歴史民俗資料館			施設	天竜区・春野支所	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実、地域の文化遺産の継承、地域の文化遺産の保全・活用					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		教育、学術及び文化の発展に寄与するため設置(浜松市博物館条例第1条)犬居城、秋葉山、王子製紙等の考古・民俗・歴史・自然等に関する博物館資料の収集・保管・展示					
		主な業務内容	考古・民俗・歴史・自然等に関する博物館資料の収集・保管・展示、施設管理				
		主な利用者	一般市民、観光客、歴史愛好家ほか				
		設置目的の継続性・妥当性					
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用者があり需要は確保されている。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	今後も一定の利用が予想される。					
	特記事項	歴史博物館として地域の文化遺産継承に必要不可欠な施設					
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況	
		事業①	常設展示	2023	—	不特定	702
				2022	—	不特定	1,190
				2021	—	不定数	1,129
		事業②	家康ゆかりの地パネル展	2023	—	不特定	529
2022				—	—	—	
2021				—	—	—	
事業③		企画展「春野の学校」	2023	—	不特定	169	
			2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
事業④		—	2023	—	—	—	
			2022	—	—	—	
	2021		—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	建築後30年が経過し、空調機械設備の更新と、床材等建築設備の修繕対応が必要である。					
	対応策	適正な施設維持管理のため緊急性の高いものから修繕を行い、必要に応じて機械設備の更新も計画していく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
		統廃合	—	—	—	—	
		複合化	—	—	—	図書館と一体管理	
	広域化	—	—	—	—		
民活導入	—						

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	6,562	3,498	3,303	1人当たりのコスト(円)	4,415	1,388	1,382
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	11,028	5,756	5,436
	1日当たり利用者(人)	2	4	4	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)	供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)						
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価								
	※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
	当面適切な維持管理に努める。							

リストNo		04-027	施設コード	01508	
利用用途別分類(施設分類)		文化・観光施設			
施設名		水窪民俗資料館			
所在(町名・番地)		天竜区水窪町地頭方1097			
利用者の圏域別分類等		地域		中山間地域	
財産区分		行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部博物館		課長名	鈴木 一有
	施設	天竜区・水窪支所		課長名	岩本 晃
設置根拠(法)		—			
条例		浜松市博物館条例			
設置目的		教育、学術及び文化の発展に寄与するため設置(浜松市博物館条例第1条) 山間地の生活文化、街道文化資産の展示・保管施設			
主な利用者		市民、児童生徒、観光客			
運営形態		直営			
指定管理または 包括管理委託等の期間		～			
管理者名		—			
開館時間		9:00 ～ 16:00			
建物情報	総延床面積	681.67	土地情報	土地面積	1,289.96
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	1,289.96
	地上階数(主要建物)	2			
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	1997/5/30			
	経過年数(主要建物)	26		代表地目(現況地目)	宅地
用途地域		都市計画区域外			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		—	—	—	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	—	—	—	
特記事項	—				



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	12	11	15
	収入計(A)	12	11	15
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	979	1,035	1,027
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	1,013	1,091	950
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	1,992	2,126	1,977
行政コスト(B－A)		1,980	2,115	1,962
収支前年比		93.62	107.80	104.70
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		6,242	6,242	6,242
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	567	593	1,368
	開館日数/年	200	200	200
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	7,027	149,804	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2020	学習施設外壁・屋根改修工事	10,276			
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)		
	04-039	民俗資料館旧久保邸	文化財	0.0		
	04-055	水窪観光展示休憩所	小規模等	1.0		
その他の分類	14-146	水窪第2分団第5部竜戸詰所	コミュニティ	0.2		
	25-025	向島浄水場	—	0.8		
	14-145	水窪第2分団第2部小畑詰所ほか2施設	コミュニティ	0.8		
	05-046	水窪グラウンド管理棟	小規模等	0.8		
	14-027	天竜消防署水窪出張所	地域	0.9		
	05-037	水窪小畑プール管理棟	コミュニティ	0.9		
	02-009	水窪単身寮教職員住宅	地域	0.9		
	13-070	つつじヶ丘団地	地域	0.9		
施設周辺地図情報						
						

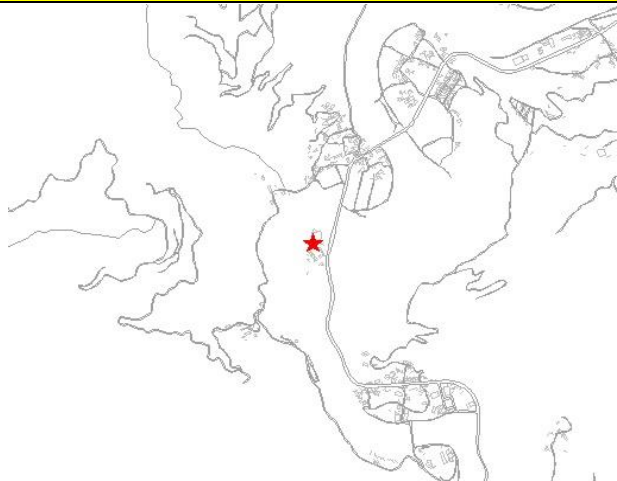
基本情報	リストNo	04-027	施設コード	01508	所管課	本庁	市民部博物館		
	施設名	水窪民俗資料館			施設	天竜区・水窪支所			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実、地域の文化遺産の継承、地域の文化遺産の保全・活用							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		教育、学術及び文化の発展に寄与するため設置(浜松市博物館条例第1条) 山間地の生活文化、街道文化資産の展示・保管施設							
		主な業務内容	考古・民俗・歴史・自然等に関する博物館資料の収集・保管・展示、施設管理						
		主な利用者	市民、児童生徒、観光客						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	当初に比べ来館者は減少している						
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	来館者数は現在と比較横ばいと予想される						
	特記事項	貴重な中山間地の民俗資料の保存施設としてのニーズは高い							
	主な事業		事業名・開催回数(2023)			年度	事業費(千円)	実施状況	
		事業①	常設展示			2023	—	不特定	56
						2022	—	不特定	59
						2021	—	不特定	1,36
		事業②	巡回展の開催			2023	—	—	—
						2022	—	不特定	13
					2021	—	不特定	96	
事業③		—			2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
					2021	—	—	—	
事業④	—			2023	—	—	—		
				2022	—	—	—		
		2021	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	経年劣化の進行により、空調設備に不備が生じている。							
	対応策	すぐにリニューアルが必要な程には至っていないが、必要な修繕などを施しながら良好な施設の維持に努めていく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
		複合化	—	—	—	—			
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	—								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	2,905	3,103	2,878	1人当たりのコスト(円)	3,492	3,567	1,434
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	9,900	10,575	9,810
	1日当たり利用者(人)	3	3	7	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)					供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
縦軸 利用状況、 前年収支比等による評価	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)				利用状況等による評価(横軸)			
	※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の 圏域毎の 方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別 分類毎の 方向性	これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。 館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
	当面適切な維持管理に努める。							

リストNo		04-029	施設コード	02248		
利用用途別分類(施設分類)		文化・観光施設				
施設名		白井鐵造記念館				
所在(町名・番地)		天竜区春野町宮川1768				
利用者の圏域別分類等		地域		中山間地域		
財産区分		行政財産	公共用財産	その他施設		
所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課		課長名	嶋津 裕亮	
	施設	天竜区・まちづくり推進課		課長名	佐々木 豊	
設置根拠(法)		—				
条例		浜松市白井鐵造記念館条例				
設置目的		浜松市名誉市民である白井鐵造の功績を称え、紹介するとともに、これを次代に継承する。				
主な利用者		観光客や宝塚歌劇団愛好者など				
運営形態		直営				
指定管理または 包括管理委託等の期間		～				
管理者名		—				
開館時間		9:00 ～ 17:00				
建物情報	総延床面積	52.17	土地情報	土地面積	0.00	
	構造(主要建物)	木造		うち所有面積	0.00	
	地上階数(主要建物)	1			うち借地面積	0.00
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新				
	耐震工事(主要建物)	—				
	建築年月日(主要建物)	1987/3/25				
	経過年数(主要建物)	37		代表地目(現況地目)		
用途地域		都市計画区域外				
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計		
設置事業費		8,500	—	8,500		
財源	国・県	—	—	—		
	寄付金	8,500	—	8,500		
	その他	—	—	—		
	市債	—	—	—		
	一般財源	—	—	—		
特記事項	—					



項目	2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0
	国県支出金	0	0
	その他収入	0	0
	収入計(A)	0	0
支出(千円)	人件費	0	0
	物件費(委託料)	216	216
	維持補修費(修繕費)	0	0
	物件費(光熱水費)	18	14
	物件費(借地料)	0	0
	支出計(B)	234	230
行政コスト(B-A)		234	230
収支前年比		101.74	99.14
(参考)指定管理料		0	0
(参考)減価償却費		0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—
	施設利用者数/年	2,422	2,081
	開館日数/年	302	297
	施設定員数	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—
	蔵書数	—	—
	入居戸数	—	—
	全戸数	—	—
	クラス数	—	—
	生徒数	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)		
	土地	建物	その他
	0	0	—

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名			圏域種別	距離(km)
	04-054	天狗下駄展示場			小規模等	0.0
	04-026	春野歴史民俗資料館			地域	1.3
その他の分類	03-017	春野文化センター			地域	0.0
	25-046	宮川水道倉庫			—	0.5
	26-022	気田浄化センター			—	0.6
	21-007	春野斎場			地域	0.6
	14-126	春野第3分団宮川			コミュニティ	0.8
	14-026	天竜消防署春野出張所・防災センター			地域	1.0
	01-025	春野支所			地域	1.0
	10-019	春野福祉センター			地域	1.2
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	04-029	施設コード	02248	所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課		
	施設名	白井鐵造記念館			施設	天竜区・まちづくり推進課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	地域の文化遺産の継承・地域の文化遺産の保全・活用							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		浜松市名誉市民である白井鐵造の功績を称え、紹介するとともに、これを次代に継承する。							
		主な業務内容	施設管理業務						
		主な利用者	観光客や宝塚歌劇団愛好者など						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	宝塚歌劇団やすみれへの関心は高く、需要は確保される						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	宝塚歌劇団やすみれへの関心は高く、ニーズは維持される							
	特記事項	「すみれの花咲く頃」の歌碑が移設された							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)	年度	事業費(千円)	実施状況				
					のべ募集人員	参加者数			
		事業①	白井鐵造愛用品等の展示	2023	—	未定数	2,422		
				2022	—	未定数	2,081		
				2021	—	未定数	1,279		
		事業②	—	2023	—	—	—		
				2022	—	—	—		
				2021	—	—	—		
事業③		—	2023	—	—	—			
			2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
事業④		—	2023	—	—	—			
	2022		—	—	—				
	2021		—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	老朽化が進んでいるため修繕等が必要である。入口や通路のバリアフリー化の要望がある。							
	対応策	施設維持のため、緊急性の高いものから修繕を行う。							
	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
	廃止	—	—	—	—				
	民間移管	—	—	—	—				
	管理主体変更	—	—	—	—				
	代替サービス	—	—	—	—				
	統廃合	—	—	—	—				
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	令和元年度より、NPO法人春野のえがおに日常管理を委託している。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	4,485	4,409	4,447	1人当たりのコスト(円)	97	111	181
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	775	774	771
	1日当たり利用者(人)	8	7	4	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)

建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)

供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)

利用状況等による評価(横軸)

※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

利用者の圏域毎の方向性

利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。

利用用途別分類毎の方向性

これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。

館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。

個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—

当面適切な維持管理に努める。

リストNo	04-030	施設コード	04331
利用用途別分類(施設分類)	文化・観光施設		
施設名	ヤマタケの蔵		
所在(町名・番地)	天竜区二俣町二俣1162-4		
利用者の圏域別分類等	地域	中山間地域	
財産区分	普通財産	普通財産	その他
所管課	本庁	—	課長名 —
	施設	天竜区・まちづくり推進課	課長名 佐々木 豊
設置根拠(法)	—		
条例	—		
設置目的	国登録有形文化財の蔵3棟(南の蔵、新蔵、北の蔵)と同じ敷地に、文化交流や地域交流の拠点として地域活性化に資するため交流棟を設置。		
主な利用者	一般市民		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	10:00 ～ 21:00		
建物情報	総延床面積	252.54	土地情報
	構造(主要建物)	木造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	-	
	建築年月日(主要建物)	2011/6/28	
	経過年数(主要建物)	12	
用途地域	第二種住居地域	土地面積	748.82
	区分	建設事業費(千円)	うち所有面積 748.82
		土地取得事業費(千円)	うち借地面積 0.00
財源	設置事業費	—	計 —
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
	一般財源	—	—
特記事項	—		



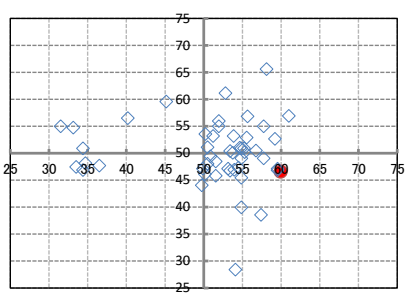
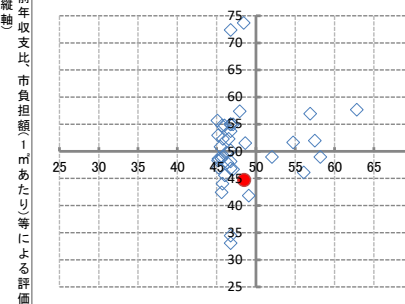
項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	18	32	13
	収入計(A)	18	32	13
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	239	207	198
	維持補修費(修繕費)	1,390	350	10
	物件費(光熱水費)	95	98	89
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	1,724	655	297
	行政コスト(B－A)	1,706	623	284
収支前年比		273.84	219.37	66.98
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,194	1,194	1,194
利用状況	利用コマ数/年	34	53	17
	利用可能コマ数/年	510	510	516
	施設利用者数/年	17,581	4,700	1,168
	開館日数/年	255	255	258
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	25,543	11,196	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2011	施設整備工事	24,999			

近隣施設			
同分類	No	施設名	圏域種別 距離(km)
	04-042	ものづくり伝承館	文化財 0.1
	04-047	二俣歴史散策路	小規模等 0.3
	04-012	秋野不矩美術館	市域 0.4
	04-025	内山真龍資料館	地域 1.1
	04-044	田代家住宅	文化財 1.4
その他の分類	14-096	天竜第1分団諏訪町	コミュニティ 0.1
	14-093	天竜第1分団横町	コミュニティ 0.1
	03-058	二俣ふれあいセンター	生活 0.4
	07-067	ふたまた児童クラブ	生活 0.4
	15-096	二俣小学校	生活 0.4
	13-085	田組西団地	地域 0.4
	01-024	天竜区役所南館	地域 0.5
	09-010	天竜保健福祉センター	地域 0.5



基本情報	リストNo	04-030	施設コード	04331	所管課	本庁	—
	施設名	ヤマタケの蔵			施設	天竜区・まちづくり推進課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	芸術・文化の拠点の創造と発信					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		国登録有形文化財の蔵3棟(南の蔵、新蔵、北の蔵)と同じ敷地に、文化交流や地域交流の拠点として地域活性化に資するため交流棟を設置。					
		主な業務内容	交流棟(多目的スペース・ワークショップスペース)の貸館業務				
		主な利用者	一般市民				
		設置目的の継続性・妥当性					
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用がある。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	今後も一定の利用が見込まれる。					
	特記事項	平成27年8月に既存の蔵3棟が国登録有形文化財に登録された。					
	主な事業	事業名・開催回数(2023)	年度	事業費(千円)	実施状況		
		事業① 交流棟(多目的スペース・ワークショップスペース)の貸館業務 ※天竜商工会、クローバー通り商店会等の開催する地域の活性化イベントへの貸し出し	2023	—	—	17,581	
			2022	—	—	4,700	
			2021	—	—	1,168	
		事業② —	2023	—	—	—	
			2022	—	—	—	
2021			—	—	—		
事業③ —		2023	—	—	—		
		2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
事業④ —		2023	—	—	—		
		2022	—	—	—		
	2021	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	既存の蔵3棟が平成27年8月に国登録有形文化財に登録された。大正時代に建築された歴史的価値のある古建築物であるため、安全な維持管理が必要である。					
	対応策	国登録有形文化財に登録された既存の蔵3棟について、文化財として適切な維持管理に努めていく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
		統廃合	—	—	—	—	
	複合化	—	—	—	—		
	広域化	—	—	—	—		
民活導入	—						

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	6,755	2,467	1,125	1人当たりのコスト(円)	97	133	243
	施設利用率(%)	6.7	10.4	3.3	1開館日当たりのコスト(円)	6,690	2,443	1,101
	1日当たり利用者(人)	69	18	5	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価	 建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)			 利用状況等による評価(横軸)				
	※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	これまで、文化施設については、博物館機能の再編や収蔵庫の見直しなどを実施してきました。今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、博物館・資料館等については、歴史的な建造物の保存、文化の継承など学術レベルの維持・向上に留意しつつ、地域における施設の役割や収蔵資料の価値等も踏まえ、民間活力の更なる活用も検討します。観光施設のうち、テーマパーク的な性格や宿泊機能、入浴機能を有する施設は、指定管理者制度の導入などの民間活力導入を積極的に進めてきました。館山寺総合公園(フラワーパーク・動物園)については、民間のノウハウや専門知識を活かし、国内外から観光客を呼び込むことができる施設運営を行います。動物園は、再生計画に基づき、フラワーパークとの一体的な管理運営などを実施していきます。フルーツパークについては、民間活力の更なる活用を念頭に、今後の施設のあり方について引き続き検討します。宿泊機能や入浴機能を有する施設については、更新の時期を迎える前に、利用実績や費用対効果などを踏まえあり方を検討します。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
国登録有形文化財に登録された既存の蔵3棟について、文化財として適切な保存に努める。								